

6. 社会との連携

6.1 学協会活動

令和 5 年度

氏名	委員会名	役職名
CRUZ NARANJO, Ana Maria	(特非) 国際総合防災学会	理事
浅野 公之	公益社団法人 日本地震学会	2023 年度通常代議員
浅野 公之	(公社) 日本地震工学会	第 16 回日本地震工学シンポジウム運営委員会学術部会 委員
浅野 公之	(一社) 日本建築学会	地盤震動小委員会委員
五十嵐 晃	(公社) 土木学会	調査研究部門 地震工学委員会 運営幹事 会 委員兼幹事
五十嵐 晃	(公社) 土木学会	調査研究部門 地震工学委員会 委員兼幹事
五十嵐 晃	(公社) 土木学会	調査研究部門 応用力学委員会委員
井口 敬雄	日本気象学会関西支部	第 35 期幹事
井口 正人	(特非) 日本火山学会	国際委員会委員
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実行委員会 広報部会部会長
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会委員会幹事
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	日本建築学会賞選考委員会委員
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	日本建築学会賞業績部会専門委員
伊藤 喜宏	公益社団法人 日本地震学会	2023 年度通常代議員
岩田 知孝	(公社) 日本地震学会	2023 年度通常代議員
岩田 知孝	公益社団法人 日本地震学会	強震動委員会委員
岩田 知孝	(公社) 日本地震学会	日本地震学会賞推薦委員会委員
上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門 構造工学委員会 構造工学論文集編集小委員会 委員
上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門/地震工学委員会/地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関する研究小委員会 委員
上田 恭平	(公社) 地盤工学会	第 8 回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実行委員会 幹事
上田 恭平	(公社) 地盤工学会関西支部	商議員
上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 委員会顧問

上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 技術文書審議タスク (地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会担当) メンバー
上田 恭平	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員及び編集幹事会幹事
上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門/地震工学委員会/地震工学論文集編集小委員会委員
上田 恭平	(公社) 地盤工学会	Soils and Foundations 編集委員会 幹事委員
渦岡 良介	(公社) 土木学会関西支部	商議員
渦岡 良介	(公社) 土木学会	調査研究部門/地震工学委員会/地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関する研究小委員会 委員
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	第 8 回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実行委員会 副幹事長
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	Soils and Foundations 編集委員会 委員長
渦岡 良介	(公社) 土木学会	総務部門 論文賞選考委員会 委員
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	災害連絡会議 地方連絡委員 (京都府)
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	第 42 期理事
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	広報委員会 委員長
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	天気編集委員会 副委員長
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	企画調整委員会 委員
王 功輝	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
王 功輝	(公社) 日本地すべり学会	代議員
王 功輝	公益社団法人 日本地すべり学会関西支部	支部長
大西 正光	(公社) 土木学会	土木学会論文集編集委員会・土木計画学 (政策と実践) 編集小委員会 (42 小委員会) 委員
大西 正光	(公社) 土木学会関西支部	幹事
大西 正光	(公社) 土木学会関西支部	土木学会令和 4 年度全国大会実行委員会 年次学術講演会部会 共通セッション担当
大西 正光	(公社) 土木学会	建設マネジメント委員会 委員
大西 正光	(公社) 土木学会	調査研究部門 土木学会論文集編集委員会 土木計画学 (方法と技術) 編集小委員会 (41 小委員会) 委員
大西 正光	(公社) 土木学会	出版部門 出版委員会 委員
大西 正光	(公社) 土木学会関西支部	関西土木工学交流発表会実行委員会委員

大西 正光	(公社) 土木学会	調査研究部門 建設マネジメント小委員会 特別小委員会 2024 年働き方改革小委員会 副小委員長
小坂田 ゆかり	(公社) 砂防学会	気候変動により激甚化する土砂災害に関する 研究小委員会委員
川池 健司	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員兼幹事
川池 健司	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 水工学論文 集編集小委員会 委員
川池 健司	(公社) 土木学会	調査研究部門 地下空間研究委員会 防災 小委員会 委員
川池 健司	日本自然災害学会	評議員
川池 健司	日本自然災害学会	企画委員会 委員
川池 健司	日本自然災害学会	防災学術連携体特別委員会 委員長
倉田 真宏	(一社) 日本建築学会	鋼構造次世代設計規準検討小委員会委員
倉田 真宏	(公社) 日本地震工学会	第 16 回日本地震工学シンポジウム運営委員 会学術部会 委員
倉田 真宏	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実 行委員会 広報部会幹事
倉田 真宏	(一社) 日本建築学会	鋼構造座屈小委員会委員
後藤 浩之	(公社) 地盤工学会	第 8 回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実 行委員会 委員
後藤 浩之	(公社) 地盤工学会関西支部	商議員
後藤 浩之	(公社) 土木学会	調査研究部門 地震工学委員会 耐震基準 小委員会 委員
後藤 浩之	(公社) 地盤工学会	令和 6 年能登半島地震被害調査団 地盤震 動主査
佐山 敬洋	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員兼幹事
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	幹事
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	土木学会令和 4 年度全国大会実行委員会 総務部会 本部委員会担当
佐山 敬洋	日本自然災害学会	評議員
佐山 敬洋	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員長および編集 幹事会幹事長
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	関西土木工学交流発表会実行委員会委員
佐山 敬洋	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 幹事長
佐山 敬洋	(公社) 土木学会	調査研究部門/水工学委員会/土木学会論文 集特集号 (水工学) 編集小委員会 委員兼幹 事

澁谷 拓郎	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
志村 智也	(公社) 土木学会	調査研究部門 海岸工学委員会 沿岸災害 デジタルツイン研究小委員会 委員
志村 智也	日本混相流学会	2023 年度編集委員
徐 培亮	国際測地学・地球物理学連合 学会	IUGG 若手科学者受賞選考委員会委員
徐 培亮	中国地球物理学会	Chinese Journal of Geophysics の編集委員会 委員
徐 培亮	国際測地学協会	Journal of Geodesy の編集長
徐 培亮	国際測地学協会	Journal of Geodesy の副編集長
徐 培亮	国際測地学協会	国際測地学協会執行委員会 委員
角 哲也	(一社) ダム工学会	副会長
角 哲也	(一社) ダム工学会	理事、代表理事(副会長)、企画運営委員会 委員長、選考委員会 第Ⅱ類水理構造物部 門査読委員、活性化推進小委員会中部近畿 地区委員
関口 春子	公益社団法人 日本地震学会	2023 年度通常代議員
関口 春子	日本自然災害学会	評議員
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 地盤工学委員会 火山工学 研究小委員会
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員兼幹事
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 環境水理部 会 部会長
竹林 洋史	(公社) 砂防学会	気候変動により激甚化する土砂災害に関す る研究小委員会委員
竹林 洋史	(公社) 砂防学会	研究開発部会・部会員
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 土木学会論 文集特集号(水工学)編集小委員会 委員
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 地盤工学委員会 火山工学 研究小委員会 委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	第 42 期理事
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	SOLA 編集委員会 委員長
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	気象集誌編集委員会 委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	気象災害委員会 委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	企画調整委員会 委員

竹見 哲也	(一社) 日本風工学会	理事
竹見 哲也	(一社) 日本風工学会	運営・学術委員会委員
竹見 哲也	(一社) 日本風工学会	第 28 回風工学シンポジウム運営委員会委員
竹見 哲也	(一社) 日本風工学会	第 28 回風工学シンポジウム査読委員会委員
多々納 裕一	(特非) 国際総合防災学会	理事
多々納 裕一	日本自然災害学会	理事
多々納 裕一	日本自然災害学会	評議員
多々納 裕一	日本自然災害学会	企画委員会 会長
多々納 裕一	土木学会	土木計画学研究委員会 委員長
多々納 裕一	JPGU	学協会会議 議長
田中 賢治	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員
田中 賢治	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 水工学論文 集編集小委員会 委員兼幹事
田中 賢治	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員兼幹事
土井 一生	日本自然災害学会	学術講演会部会 部会員
土井 一生	公益社団法人 日本地震学会	広報委員会委員
土井 一生	(公社) 日本地すべり学会	代議員
土井 一生	公益社団法人 日本地すべり 学会関西支部	運営委員
土佐 尚子	特定非営利活動法人日本バー チャルリアリティ学会	評議員
中北 英一	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 顧問
中北 英一	(公社) 日本気象学会	第 42 期岸保・立平賞候補者推薦委員会委員
長嶋 史明	(公社) 日本地震工学会	論文集編集委員会 委員
長嶋 史明	(一社) 日本建築学会	強震観測小委員会委員
長嶋 史明	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会実行委員会 委員
中谷 加奈	(公社) 砂防学会	令和 6 年度 (公社) 砂防学会研究発表会 「和歌山大会」実行委員会委員
中野 元太	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員及び編集幹事 会幹事

中野 元太	防災教育学会	理事
中道 治久	(特非) 日本火山学会	理事
中道 治久	(特非) 日本火山学会	国際委員会委員・事業委員会委員・大会委員会委員
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	津波荷重改定小委員会 委員
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	風荷重小委員会 委員
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	風災害調査連絡委員会 主査
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	風災害研究会主査
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	実大ストームシミュレータに関する国内外動向調査研究会主査
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	将来構想 WG 副査
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	理事
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実行委員会 総務部会幹事
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	信頼性工学利用小委員会 委員
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	建築情報技術の評価・選定法小委員会委員
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会実行委員会 委員
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	第 28 回風工学シンポジウム査読委員会 委員
西野 智研	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会実行委員会 委員
西村 卓也	公益社団法人 日本地震学会	2023 年度役員代議員
西村 卓也	(公社) 日本地震学会	理事
西村 卓也	(公社) 日本地震学会	表彰委員会委員
西村 卓也	公益社団法人 日本地震学会	海外渡航旅費助成金審査委員会委員長
西村 卓也	日本自然災害学会	理事
西村 卓也	日本自然災害学会	災害調査部会 部会員
西村 卓也	(公社) 日本地震学会	日本地震学会賞推薦委員会委員
畑山 満則	日本自然災害学会	評議員
畑山 満則	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員

畑山 満則	(公社) 土木学会	調査研究部門 建設マネジメント委員会第一種研究小委員会 103 災害対応ガバナンス研究小委員会 委員
畑山 満則	(特非) 国際総合防災学会	理事
馬場 康之	(公社) 土木学会	調査研究部門/地下空間研究委員会 委員
馬場 康之	(公社) 土木学会	調査研究部門 地下空間研究委員会 防災小委員会委員長
馬場 康之	(公社) 土木学会	調査研究部門 地下空間研究委員会 副委員長
馬場 康之	(公社) 土木学会	調査研究部門 地下空間研究委員会 防災小委員会 委員
平野 創一朗	(公社) 日本気象学会	日本気象学会 松野賞候補者推薦委員会 委員
廣井 慧	日本災害情報学会	企画委員会委員
廣井 慧	日本自然災害学会	学術委員会 委員
廣井 慧	(一社) 情報処理学会	コンシューマ・デバイス&システム (CDS) 研究会幹事
深畑 幸俊	(公社) 日本地震学会	代議員
藤見 俊夫	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
堀 智晴	(公社) 土木学会	調査研究部門/水工学委員会/水工学論文集編集小委員会 委員
堀 智晴	(公社) 土木学会関西支部	土木学会令和 4 年度全国大会実行委員会特別講演会 部会長
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	理事
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	総会・研究発表会企画小委員会委員
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	副会長
堀 智晴	(公社) 土木学会	調査研究部門/水工学委員会/土木学会論文集特集号 (水工学) 編集小委員会 委員
堀 智晴	日本水文科学会	優秀発表賞選考委員
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	優秀発表賞選考委員
堀 智晴	(公社) 土木学会	調査研究部門/水工学委員会/水害対策小委員会 委員
牧 紀男	日本自然災害学会	評議員
牧 紀男	(一社) 日本建築学会	アジア建築交流委員会委員長
牧 紀男	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
牧 紀男	(一社) 日本建築学会	災害対策・復興の新技术構築小委員会 委員

牧 紀男	一般社団法人 地域安全学会	理事
牧 紀男	(公社) 日本都市計画学会	防災特別委員会委員および「第 1 部会：自然災害」部会長
牧 紀男	(一社) 日本建築学会	代表理事 (副会長) (非常勤)
牧 紀男	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会実行委員会 委員
松島 信一	公益社団法人 日本地震学会	2023 年度役員代議員
松島 信一	(公社) 日本地震工学会	第 16 回日本地震工学シンポジウム運営委員会行事企画部会 部会長
松島 信一	(公社) 日本地震学会	理事
松島 信一	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実行委員会 総務部会幹事
松島 信一	(公社) 日本地震学会	災害調査委員会委員
松島 信一	公益社団法人 日本地震学会	広報委員会委員
松島 信一	(一社) 日本建築学会	地震荷重小委員会委員
松島 信一	(一社) 日本建築学会	地盤震動小委員会委員
松島 信一	公益社団法人 日本地震学会	強震動委員会委員長
松島 信一	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会実行委員会 委員
丸山 敬	(一社) 日本風工学会	表彰委員会委員
丸山 敬	(一社) 日本風工学会	太陽光発電システム風荷重・耐風性能評価研究会委員
丸山 敬	(一社) 日本風工学会	風災害研究会委員
丸山 敬	(一社) 日本建築学会	災害本委員会委員
丸山 敬	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会実行委員会 委員
宮澤 理稔	公益社団法人 日本地震学会	2023 年度通常代議員
宮田 秀介	(一社) 日本森林学会	日本森林学会 Joernal of Forest Research 常任編集委員
宮田 秀介	(公社) 砂防学会	砂防学会誌英文誌編集委員会委員
宮田 秀介	(公社) 砂防学会	役員候補者推薦委員会委員
森 信人	(公社) 土木学会	調査研究部門/海岸工学委員会 副委員長
森 信人	アメリカ土木学会 (ASCE)	Coastal Engineering Research Council Committee member

森 信人	(公社) 土木学会	土木グローバル化総合委員会 土木工学における学術研究活動国際化ビジョン検討小委員会 委員
森 信人	(公社) 土木学会	調査研究部門 海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン研究小委員会 小委員長
山口 弘誠	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員
山口 弘誠	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
山口 弘誠	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 土木学会論文集特集号(水工学) 編集小委員会 委員
山崎 健一	地球電磁気・地球惑星圏学会	分科会 Conductivity Anomaly(CA)研究会 幹事補佐
山崎 新太郎	(公社) 日本地すべり学会	代議員
山崎 新太郎	公益社団法人 日本地すべり学会関西支部	運営委員
山崎 新太郎	(公社) 砂防学会 中四国支部	運営委員
山下 裕亮	(公社) 日本地震学会	大会・企画委員会委員
山田 大志	(特非) 日本火山学会	庶務委員会委員
山田 大志	(特非) 日本火山学会	特定非常利活動法人日本火山学会 70 周年記念事業ワーキンググループ委員
山田 真史	(一社) 日本建築学会	津波荷重改定小委員会 津波荷重シミュレーション WG 委員
山田 真澄	公益社団法人 日本地震学会	2023 年度通常代議員
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	気候変動により激甚化する土砂災害にかんする研究小委員会委員
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	第 6 期 (公社) 砂防学会「砂防学会誌英文誌編集委員会委員」
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	第 6 期 (公社) 砂防学会「国際部会・部会員」
山野井 一輝	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員及び編集幹事会幹事
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	令和 6 年度 (公社) 砂防学会研究発表会「和歌山大会」実行委員会委員
矢守 克也	(特非) 国際総合防災学会	理事
矢守 克也	日本災害復興学会	理事 (会長)
矢守 克也	日本グループ・ダイナミックス学会	地区別理事役員
矢守 克也	日本自然災害学会	理事
矢守 克也	日本自然災害学会	評議員
矢守 克也	防災教育学会	理事

矢守 克也	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
矢守 克也	地区防災計画学会	理事（会長）
吉田 聡	（公社）日本気象学会	電子情報委員会委員
吉田 聡	（公社）日本気象学会	人材育成・男女共同参画委員会 副委員長
吉田 聡	日本気象学会関西支部	第 35 期常任理事
吉村 令慧	地球電磁気・地球惑星圏学会	大林奨励賞推薦委員
米山 望	（公社）土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会委員
米山 望	（公社）土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員
米山 望	（公社）土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 津波評価小委員会 津波漂流物の影響評価技術の体系化 WG 委員
米山 望	日本自然災害学会	理事
米山 望	日本自然災害学会	評議員
米山 望	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員および編集幹事会アドバイザー
米山 望	日本自然災害学会	学術講演会部会 部会長
萬 和明	（一社）水文・水資源学会	編集出版委員

※その他、非公開 6 件

6.2 学術振興活動・国や地方公共団体等への協力

令和 5 年度

氏名	委員会名	役割
CRUZ NARANJO, Ana Maria	Institution of Chemical Engineers	Member of the Editorial Board of the Journal of Loss Prevention in the Process Industries (JLPPI)
CRUZ NARANJO, Ana Maria	京都大学工学部	非常勤講師
CRUZ NARANJO, Ana Maria	IDRiM Society	President (会長)
CRUZ NARANJO, Ana Maria	Institution of Chemical Engineers	Member of the Editorial Board of the Journal of Loss Prevention in the Process Industries (JLPPI)
KANTOUSH, Sameh Ahmed	株式会社アンジェロセック	独立行政法人国際協力機構「ヨルダン国 ASEZ 都市開発マスタープラン更新プロジェクト」における洪水管理/気候変動専門家業務
KANTOUSH, Sameh Ahmed	京都大学工学部	非常勤講師
LAHOURNAT, Florence	京都大学工学部	非常勤講師
ROUET-LEDUC, Bertrand Philippe Gerard	Geolabe LLC	Advisor for technology development related to automated analysis of InSAR data
ROUET-LEDUC, Bertrand Philippe Gerard	Geolabe LLC	Advisor for technology development related to automated analysis of InSAR data
SAMADDAR, Subhajyoti	京都大学工学部	非常勤講師
SAMADDAR, Subhajyoti	IDRiM Society	Board of Director (理事)
TSAI, Yu-Lin	School of Continuing Education, Chinese Culture University	Part-Time Lecturer
浅野 公之	京都大学生協同組合	理事
浅野 公之	京都大学理学部	非常勤講師
浅野 公之	京都大学生協同組合	理事
浅野 公之	関西地震観測研究協議会	幹事、地震記録分科会主査
浅野 公之	関西地震観測研究協議会	幹事、地震記録分科会主査
五十嵐 晃	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
五十嵐 晃	京都大学工学部	非常勤講師
五十嵐 晃	国土交通省近畿地方整備局	橋梁ドクター
五十嵐 晃	国土交通省鉄道局	新幹線の地震対策に関する検証委員会委員
井口 正人	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員

井口 正人	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
井口 正人	日本学会会議事務局	地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会委員
井口 正人	気象庁	火山噴火予知連絡会口永良部島部会部会長
井口 正人	(国研) 科学技術振興機構	国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 推進委員
井口 正人	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会委員
井口 正人	鹿児島県危機管理防災局危機管理課	桜島火山防災協議会構成員、薩摩硫黄島火山防災協議会構成員、口永良部島火山防災協議会構成員、諏訪之瀬島火山防災協議会構成員
井口 正人	(国研) 科学技術振興機構	国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究主幹
井口 正人	鹿児島県	鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会委員
井口 正人	(独) 国際協力機構	トンガ火山噴火災害ハザードに係る有識者
井口 正人	鹿児島大学理学部	非常勤講師
井口 正人	(国交) 九州地方整備局	緊急災害対策派遣ドクター (TEC-Doctor)
井口 正人	第十管区海上保安本部	第十管区海上保安本部が実施する火山活動監視観測への協力
井口 正人	(国研) 防災科学技術研究所	客員研究員
井口 正人	京都大学理学部	非常勤講師
井口 正人	気象庁	火山噴火予知連絡会委員
井口 正人	気象庁	火山調査研究検討会の設置に向けた準備会座長
井口 正人	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
井口 正人	文部科学省研究開発局	火山調査研究推進本部の設置に向けた準備会 構成員
井口 正人	京都大学大学院情報学研究科	博士学位論文調査委員
池田 芳樹	京都大学工学部	非常勤講師
池田 芳樹	(国大) 京都工芸繊維大学	本学教員採用候補者の審査に係る外部評価委員
池田 芳樹	(公財) 増屋記念基礎研究振興財団	助成金交付審査委員会 委員
伊藤 耕介	気象庁気象研究所	客員研究員
伊藤 耕介	気象庁	線状降水帯予測精度向上ワーキンググループ委員
伊藤 耕介	横浜国立大学総合学術高等研究院	非常勤講師 (研究担当)

伊藤 耕介	京都大学理学部	非常勤講師
伊藤 耕介	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	アドバイザー
伊藤 耕介	(国大) 琉球大学	非常勤講師
伊藤 喜宏	京都大学理学部	非常勤講師
伊藤 喜宏	株式会社 H3	フェロー
伊藤 喜宏	(国研) 海洋研究開発機構	研究航海検討委員会アドバイザー
岩田 知孝	(一財) 地域地盤環境研究所	評議員
岩田 知孝	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
岩田 知孝	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部地震調査委員会委員
岩田 知孝	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部政策委員会委員
岩田 知孝	島根県	島根県原子力安全顧問
岩田 知孝	大阪府	令和 5 年度 IR 予定区域等における液状化対策に関する専門家会議 委員
岩田 知孝	京都大学理学部	非常勤講師
岩田 知孝	関西地震観測研究協議会	座長、幹事および地震記録分科会委員
岩田 知孝	関西地震観測研究協議会	座長、幹事および地震記録分科会委員
上田 恭平	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
上田 恭平	(一社) FLIP コンソーシアム	理事及び特別顧問 (社員)
上田 恭平	Institute of Geotechnical Engineering, Zhejiang University	Adjunct Associate Professor
上田 恭平	京都大学工学部	非常勤講師
上田 拓	(大利) 情報・システム研究機構 統計数理研究所	外来研究員
渦岡 良介	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
渦岡 良介	大阪府	大阪府河川構造物等審議会 委員
渦岡 良介	西日本高速道路 (株)	NEXCO 西日本グループ業務点検アドバイザー 会議委員

渦岡 良介	一般財団法人建設工 学研究振興会	非常勤研究員
渦岡 良介	西日本高速道路 (株)	西日本高速道路株式会社関西支社等入札監視委員 会委員
渦岡 良介	西日本高速道路 (株) 関西支社	技術アドバイザー
渦岡 良介	京都大学工学部	非常勤講師
渦岡 良介	宇治市	雨水貯留施設（目川貯留管）整備工事の推進機械 停止における検証委員会 委員長
渦岡 良介	PDC コンソーシアム	学識者委員会委員
渦岡 良介	大阪市高速電気軌道 株式会社	大阪市高速電気軌道株式会社 土木技術委員会委 員
榎本 剛	気象庁大気海洋部	異常気象分析作業部会委員
榎本 剛	（国研）海洋研究開 発機構	招聘上席研究員
榎本 剛	京都大学大学院情報 学研究科	授業担当教員
榎本 剛	神戸大学大学院理学 研究科	神戸大学大学院理学研究科附属惑星科学研究セン ター協力研究員
榎本 剛	気象庁情報基盤部	長期再解析推進懇談会委員
王 功輝	文部科学省研究開発 局	文部科学省国立研究開発法人審議会臨時委員
王 功輝	西日本高速道路 (株) 関西支社 福 知山高速道路事務所	舞鶴若狭自動車道 関屋地区道路構造検討会 委 員
王 功輝	京都市防災会議	京都市防災会議専門委員会専門委員
王 功輝	（国交）近畿地方整 備局 大和川河川事 務所	亀の瀬地すべり保全方策検討委員会 委員
大西 正光	University of Delaware	Associate editor of the ASCE Journal of Infrastructure Systems
大西 正光	（国交）近畿地方整 備局 近畿技術事務 所	地質リスクを踏まえた事業マネジメント勉強会会 員
大西 正光	福知山市	福知山市入札制度改革等検討委員会委員
大西 正光	大阪市水道局	大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議委員
大西 正光	神戸市	神戸港港湾審議会 委員
大西 正光	（一財）北海道道路 管理技術センター	「道路勉強会」講師
大西 正光	京都府建設交通部河 川課	木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員 会委員
大西 正光	内閣府	民間資金等活用事業推進委員会 専門委員

大見 士朗	中ノ湯地区安全管理協議会	技術検討委員
大見 士朗	乗鞍岳火山防災協議会	乗鞍岳火山防災協議会 会員
大見 士朗	焼岳火山防災協議会	焼岳火山防災協議会会員
大見 士朗	長野県防災会議	長野県防災会議専門委員
大見 士朗	岐阜県北アルプス山岳遭難対策協議会	理事
大見 士朗	京都大学理学部	非常勤講師
大見 士朗	気象庁	火山噴火予知連絡会委員（専門委員：東京地区）
大見 士朗	（国交）北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所	焼岳火山噴火緊急減災対策砂防計画 改定検討委員会 委員
岡田 夏美	神戸学院大学	非常勤講師
小坂田 ゆかり	医療法人社団 小坂田医院	法人理事
片尾 浩	生駒市	生駒市防災会議委員
片尾 浩	国立大学法人大阪教育大学	非常勤講師
川池 健司	（一財）防災研究協会	非常勤研究員
川池 健司	日本学術会議事務局	日本学術会議委員（土木工学・建築学委員会気候変動と国土分科会流域治水に資する建築物の耐水設計検討小委員会委員）
川池 健司	京都府	京都府流域下水道事業経営審議会委員
川池 健司	京都府建設交通部河川課	鴨川フォローアップ委員会委員
川池 健司	京都府宇治市役所	（仮）宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会委員
川池 健司	奈良県	奈良県河川整備委員会委員
川池 健司	京都大学工学部	非常勤講師
川池 健司	京都府教育委員会	京都府立桃山高等学校「スーパーサイエンスハイスクール」運営指導委員
川池 健司	兵庫県	河川審議会 委員
川池 健司	奈良県	奈良県総合治水対策推進委員会委員
川池 健司	（国交）近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	木津川上流河川堤防調査委員会 委員
川池 健司	静岡市	（仮称）二級河川巴川流域水位・氾濫域予測システム構築研究会委員

川池 健司	大阪市建設局	気候変動を踏まえた新たな浸水対策のあり方検討会 委員
川池 健司	奈良県県土マネジメント部	奈良県県土マネジメント部技術ドクター
川池 健司	京都府	京都府流域下水道事業経営審議会委員
川池 健司	東大阪市	東大阪市防災専門委員
倉田 真宏	城陽市	城陽市都市計画審議会委員
倉田 真宏	Oregon State University College of Engineering	Member of the Functional Recovery Project Advisory Committee
倉田 真宏	Oregon State University College of Engineering	Technical Advisor on NSF project, “Collaborative research:Converging Design Methodology – Multi-objective Optimization of Resilient Structural Spines”
倉田 真宏	株式会社全国鉄骨評価機構	鉄骨製作工場性能評価員
倉田 真宏	京都大学工学部	非常勤講師
倉田 真宏	株式会社 H3	フェロー
小柴 孝太	京都大学工学部	非常勤講師
小柴 孝太	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
後藤 浩之	KG-NET・関西圏地盤研究会	KG-NET・関西圏地盤研究会 学識委員
後藤 浩之	(一財) 阪神高速先進技術研究所	耐震技術検討委員会 委員
後藤 浩之	京都大学工学部	非常勤講師
後藤 浩之	関西地震観測研究協議会	幹事、広報分科会主査、速報システム分科会副主査
後藤 浩之	関西地震観測研究協議会	幹事、広報分科会主査、速報システム分科会副主査
後藤 浩之	高圧ガス保安協会	サイトスペシフィック地震動を適用した耐震設計に関する検討委員会委員
後藤 浩之	(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線建設局	北陸新幹線（敦賀・新大阪間）駅・トンネル委員会委員
小林 草平	(国交) 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所	天ヶ瀬ダム堆砂対策工法検討会委員
境 有紀	損害保険料率算出機構	地震災害予測研究会委員
境 有紀	(国研) 建築研究所	国際地震工学研修カリキュラム部会委員
境 有紀	京都大学工学部	非常勤講師
境 有紀	(国研) 建築研究所	国際地震工学研修（2023-2024 年コース）講師

佐山 敬洋	日本学術会議事務局	日本学術会議委員（土木工学・建築学委員会気候変動と国土分科会流域治水に資する建築物の耐水設計検討小委員会委員）
佐山 敬洋	文部科学省	日本ユネスコ国内委員会科学小委員会調査委員
佐山 敬洋	公立大学法人大阪	非常勤講師
佐山 敬洋	京都大学工学部	非常勤講師
佐山 敬洋	株式会社 H3	フェロー
佐山 敬洋	株式会社三菱総合研究所	令和 5 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
佐山 敬洋	サントリーグローバルイノベーションセンター（株）	水量リスク評価に関する研究活動アドバイザー
佐山 敬洋	（国研）宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門	人工衛星画像データの水害への活用検討ワーキンググループ委員
佐山 敬洋	滋賀県	滋賀県流域治水推進審議会委員
佐山 敬洋	第 9 回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議組織委員会	第 9 回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議札幌大会アドバイザー・会議委員
佐山 敬洋	（一社）低炭素投資促進機構	令和 4 年度補正予算「国土交通省中小企業イノベーション創出推進事業」にかかる外部評価委員
佐山 敬洋	電源開発株式会社	ダム操作に関する技術検討会委員
佐山 敬洋	静岡市	（仮称）二級河川巴川流域水位・氾濫域予測システム構築研究会委員
佐山 敬洋	サントリーグローバルイノベーションセンター（株）	水量リスク評価に関する研究活動アドバイザー
澤田 純男	（一財）防災研究協会	非常勤研究員
澤田 純男	箕面市	北大阪急行線延伸技術検討会構成員
澤田 純男	KG-NET・関西圏地盤研究会	KG-NET・関西圏地盤研究会 学識委員
澤田 純男	（一財）地域地盤環境研究所	理事
山上 路生	大阪府	大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会委員
山上 路生	京都府	由良川水系・二級水系河川整備計画検討委員会委員
山上 路生	（国交）近畿地方整備局	令和 5 年度大阪ブロック総合評価委員会委員
山上 路生	国土交通省近畿地方整備局	近畿地方整備局土木機械設備診断委員会 委員

山上 路生	大阪府	大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会委員
山上 路生	徳島県危機管理環境部とくしまゼロ作戦事前復興室	徳島県南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会委員
山上 路生	(国交) 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所	天ヶ瀬ダム堆砂対策工法検討会委員
山上 路生	(国交) 近畿地方整備局	紀の川流域懇談会委員
澁谷 拓郎	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会委員
志村 智也	京都大学工学部	非常勤講師
志村 智也	京都府建設交通部河川課	丹後沿岸海岸保全基本計画技術検討会委員
徐 培亮	Geodesy and Geodynamics	Editorial board member of Geodesy and Geodynamics
徐 培亮	VinFuture Foundation	Official Nominator of the VinFuture Prize
角 哲也	(一財) 水源地環境センター	水源地生態研究会 ダム下流生態系研究部会委員
角 哲也	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
角 哲也	佐世保市水道事業及び下水道事業	佐世保市アセットマネジメント推進専門別部会委員
角 哲也	(一財) 水源地環境センター	評議員
角 哲也	関西広域連合	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会委員
角 哲也	独立行政法人水資源機構	総合評価審査委員会委員
角 哲也	国土交通省 水管理・国土保全局	河川技術評価委員会委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理委員会委員
角 哲也	(国交) 中部地方整備局 豊橋河川事務所、矢作ダム管理所	矢作川水系総合土砂管理検討委員会委員
角 哲也	福井県大野市	大野市水循環推進協議会 委員
角 哲也	電源開発株式会社	瀬戸石ダム 通砂/排砂に関する有識者ヒアリング委員
角 哲也	(公財) 河川財団	理事
角 哲也	(一財) ダム技術センター	理事 (非常勤)
角 哲也	(独) 水資源機構 木津川ダム総合管理所	布目ダム総合点検に係る専門家

角 哲也	国土交通省	社会資本整備審議会臨時委員及び交通政策審議会臨時委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局、(独) 水資源機構	近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所	大戸川ダム環境保全委員会委員
角 哲也	京都府	国土利用計画審議会委員
角 哲也	株式会社 建設技術研究所	研究アドバイザー
角 哲也	(一社) 日本大ダム会議	国際分科会「貯水池堆砂委員会」委員
角 哲也	(国交) 九州地方整備局 立野ダム工事事務所	立野ダム試験湛水検討委員会(仮称) 委員
角 哲也	国土交通省国土技術政策総合研究所	国土技術政策総合研究所研究評価委員会 委員
角 哲也	電源開発株式会社	二津野ダム下流土砂還元検討委員会 委員長
角 哲也	(一財) 水源地環境センター	ダム土砂マネジメント研究会 委員
角 哲也	(一財) 近畿市町村災害復旧相互支援機構	評議員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	木津川上流河川環境研究会委員
角 哲也	電源開発株式会社	瀬戸石ダム 通砂/排砂に関する有識者ヒアリング委員
角 哲也	京都大学工学部	非常勤講師
角 哲也	独立行政法人水資源機構	川上ダムモニタリング部会 委員
角 哲也	国土交通省近畿地方整備局、福井県	九頭竜川流域懇談会委員
角 哲也	(国交) 中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所	小渋ダム土砂バイパストンネルモニタリング委員
角 哲也	京都府南丹土木事務所	環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー
角 哲也	長野県松川ダム管理事務所	松川ダム堆砂対策懇談会構成員
角 哲也	(一社) 日本大ダム会議	技術委員会 委員
角 哲也	(一社) 日本大ダム会議	技術委員会 既設ダムの合理的な活用・運用方策検討分科会 委員長
角 哲也	(一財) 日本水土総合研究所	永源寺ダム排砂バイパス技術検討会座長および近江東部地区技術検討委員会委員

角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所	淀川水系ダム事業費等監理委員会委員
角 哲也	(公財) リバーフロント研究所	河川・海岸環境機能等検討委員会 委員
角 哲也	電源開発株式会社 水力発電部中部支店	船明ダム下流洗掘対策に関するフォローアップ委員会 委員長
角 哲也	(国交) 北陸地方整備局	黒部川水系流域委員会委員
角 哲也	(国交) 北陸地方整備局	黒部川ダム排砂評価委員会委員
角 哲也	国土交通省近畿地方整備局 技術スペシャリスト会議 運営委員会	技術スペシャリスト会議 ダム技術研究会 アドバイザー
角 哲也	国土交通省近畿地方整備局 技術スペシャリスト会議 運営委員会	技術スペシャリスト会議 機械技術研究会 アドバイザー
角 哲也	関西広域連合	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会委員
角 哲也	国際大ダム会議	国際大ダム会議 副総裁 (Vice-President of ICOLD) INTERNATIONAL COMMISSION ON LARGE DAMS
角 哲也	国土交通省水管理・国土保全局	「気候変動に対応したダムの機能強化のあり方に関する懇談会」委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局、(独) 水資源機構	近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会委員
角 哲也	国土交通省 水管理・国土保全局	社会資本整備審議会 河川分科会 河川整備基本方針検討小委員会 臨時委員
角 哲也	(一財) ダム技術センター	耳川水系ダム通砂技術検討委員会 河川生態環境ワーキンググループ座長
角 哲也	(一財) ダム技術センター	耳川水系ダム通砂技術検討委員会 委員長
角 哲也	第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議組織委員会	第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議札幌大会アドバイザー会議委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所	天ヶ瀬ダム堆砂対策工法検討会委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理委員会委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	総合土砂管理専門部会委員
関口 春子	京都市防災会議	京都市防災会議専門委員会専門委員 (地震部会)

関口 春子	大阪府	大阪府防災会議委員
関口 春子	内閣府政策統括官 (防災担当)	「中部圏・近畿圏直下地震モデル検討会」委員
関口 春子	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会臨時委員
関口 春子	(国研) 防災科学技術研究所	客員研究員
関口 春子	京都市	京都市都市計画審議会委員
竹林 洋史	パシフィックコンサル タnts株式会社	土砂災害危険情報サービス「どしゃブル」アドバイザー
竹林 洋史	iRIC 研究会	会長
竹林 洋史	(国交) 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所	野洲川瀬・淵再生事業(第一期事業)の計画等に係る助言者
竹林 洋史	一般社団法人 iRIC-UC	理事
竹林 洋史	Feng Chia University	Distinguish Chair Professor
竹林 洋史	一般財団法人 災害科学研究所	研究員
竹林 洋史	(国交) 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	木津川上流河川環境研究会委員
竹林 洋史	京都大学工学部	非常勤講師
竹林 洋史	京都府南丹土木事務所	環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー
竹林 洋史	京都府南丹土木事務所	桂川及びその支川の河川改修等の促進に向けた地域住民によるアユモドキとの共生と保全に係るアドバイザー
竹林 洋史	京都市防災会議	京都市防災会議専門委員会専門委員
竹林 洋史	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	淀川環境委員
竹林 洋史	国土交通省近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所	河川保全利用委員会(琵琶湖河川事務所)委員
竹見 哲也	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
竹見 哲也	京都市	京都市環境影響評価審査会委員
竹見 哲也	損害保険料率算出機構	災害科学研究会 風水害部会 委員
竹見 哲也	(公社) 日本地球惑星科学連合	2023 年大会プログラム委員会委員長
竹見 哲也	(公社) 日本地球惑星科学連合	オンライン開催検討小委員会委員

竹見 哲也	(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	プログラム・オフィサー (PO)
竹見 哲也	(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	NEDO 技術委員
竹見 哲也	龍谷大学	非常勤講師
竹見 哲也	気象庁大気海洋部	異常気象分析作業部会委員
竹見 哲也	京都市	京都市環境影響評価審査会委員
竹見 哲也	株式会社三菱総合研究所	令和 5 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
竹見 哲也	気象庁	線状降水帯予測精度向上ワーキンググループ委員
竹見 哲也	九州大学大学院工学研究院	アドバイザー
竹見 哲也	気象庁気象研究所	研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE) の施策「局地的・突発的な荒天対策のためのスタートアップとの連携: AI を用いたリアルタイム防災フィールド構築」プログラムディレクター
竹見 哲也	北海道大学大学院環境科学院	非常勤講師
竹見 哲也	(公社) 日本地球惑星科学連合	プログラム委員会 副委員長
竹見 哲也	(国研) 日本原子力研究開発機構	研究業績評価会審査員
多々納 裕一	日本学術会議事務局	日本学術会議会員
多々納 裕一	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
多々納 裕一	京田辺市	京田辺市都市計画審議会委員
多々納 裕一	関西広域連合	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会委員・会長
多々納 裕一	滋賀県	滋賀県流域治水推進審議会委員・会長
多々納 裕一	精華町	精華町防災会議委員、精華町国民保護協議会委員
多々納 裕一	大阪府	大阪府都市計画審議会委員
多々納 裕一	宇治市	宇治市都市計画審議会委員・会長
多々納 裕一	奈良県	奈良県公共事業評価監視委員会委員・会長
多々納 裕一	一般財団法人 関西空港調査会	理事
多々納 裕一	京都府	京都府公共事業評価に係る第三者委員会委員・会長

多々納 裕一	Oxford University Press	Editorial board member of the Oxford Research Encyclopedia of Natural Hazard Science
多々納 裕一	京都府宇治市役所	(仮) 宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会委員
多々納 裕一	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会	2025 年日本国際博覧会安全対策協議会 構成員
多々納 裕一	(国交) 四国地方整備局 高知河川国道事務所	土佐湾沿岸海岸保全施設技術検討会委員
多々納 裕一	株式会社高速道路総合技術研究所	高速道路の降雨時及び強風時の通行規制に関する検討委員会 委員長
多々納 裕一	国土交通省港湾局	交通政策審議会委員
多々納 裕一	京都府	京都府防災会議 地域防災の見直し部会 委員
多々納 裕一	京都大学工学部	非常勤講師
多々納 裕一	滋賀県	東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
多々納 裕一	滋賀県	湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
多々納 裕一	滋賀県	湖東圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
多々納 裕一	滋賀県	高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
多々納 裕一	IDRiM Society	Vice-President(副会長)
多々納 裕一	株式会社三菱総合研究所	気候変動を考慮した感染症・気象災害に対する強靱性強化に関するマニュアル整備検討業務検討委員会 委員
多々納 裕一	株式会社三菱総合研究所	令和 5 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
多々納 裕一	京都府宇治市役所	宇治市特別職報酬等審議会 委員
多々納 裕一	国土交通省 水管理・国土保全局	河川事業の評価手法に関する研究会 委員
多々納 裕一	国土交通省国土技術政策総合研究所	「東京湾航路閉鎖時の経済社会影響分析高度化業務」におけるワークショップのメンバー
多々納 裕一	(国研) 科学技術振興機構	創発的研究支援事業アドバイザー (創発 AD)
多々納 裕一	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会	「2025 年日本国際博覧会 災害時等対応マニュアル等策定支援業務」選定委員
多々納 裕一	株式会社 DreamLab	記事コンテンツの監修
田中 賢治	日本学術会議	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 GEWEX 小委員会委員
田中 賢治	京都大学工学部	非常勤講師
田中 賢治	農林水産省農村振興局	農業農村整備における気候変動対策に関する検討会委員

田中 賢治	第 9 回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議組織委員会	第 9 回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議札幌大会アドバイザー会議委員
田中 賢治	日本学術会議事務局	日本学術会議小委員会委員
田中 賢治	株式会社 Terra Insight	発起人
爲栗 健	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
爲栗 健	鹿児島大学理学部	非常勤講師
爲栗 健	京都大学理学部	非常勤講師
爲栗 健	気象庁	火山噴火予知連絡会委員（専門委員：福岡地区）
爲栗 健	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
土井 一生	関西大学	非常勤講師
土井 一生	同志社大学	理工学部 嘱託講師
土井 一生	立命館大学	非常勤講師
土井 一生	滋賀県立膳所高等学校	非常勤講師
土井 一生	滋賀県立膳所高等学校	非常勤講師
土佐 尚子	京大オリジナル株式会社	アートイノベーションの社会実装
土佐 尚子	（公財）大林財団	選考委員（助成事業）
直井 誠	（公社）日本地球惑星科学連合	プログラム委員会委員
直井 誠	（国研）防災科学技術研究所	客員研究員
仲 ゆかり	大阪工業大学	非常勤講師
仲 ゆかり	京都大学工学部	非常勤講師
中北 英一	国土交通省 水管理・国土保全局水資源部	国土審議会専門委員
中北 英一	国土交通省 水管理・国土保全局	河川技術評価委員会委員
中北 英一	損害保険料率算出機構	災害科学研究会 委員長
中北 英一	（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	人と防災未来センター事業評価委員

中北 英一	(国研) 宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター	地球観測に関する科学アドバイザリ委員会分科会メンバー
中北 英一	日本水大賞委員会	日本水大賞審査部会委員
中北 英一	(国大) 東京大学地震研究所	東京大学地震研究所協議会協議委員
中北 英一	(国交) 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所	レーダ雨量計技術応用研究委員会 委員長
中北 英一	電源開発株式会社	ダム操作に関する技術検討会委員
中北 英一	国土交通省 北海道開発局	北海道地方における流域治水のあり方検討会委員
中北 英一	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
中北 英一	国土交通省総合政策局	交通政策審議会臨時委員
中北 英一	国土交通省総合政策局	社会資本整備審議会委員
中北 英一	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会臨時委員
中北 英一	九州大学応用力学研究所	応用力学共同研究拠点運営委員会委員
中北 英一	文部科学省研究開発局	技術参与 (環境エネルギー科学技術研究担当)
中北 英一	(国研) 海洋研究開発機構	気候変動予測先端研究プログラム カーボンバジェット評価に向けた気候予測シミュレーション技術の研究開発 (物質循環モデル) (領域課題 2) 運営委員会委員
中北 英一	京都大学工学部	非常勤講師
中北 英一	愛媛大学 社会連携推進機構防災情報研究センター	愛媛大学防災情報研究センター在り方検討委員会委員
中北 英一	福井県大野市	防災アドバイザー
中北 英一	国土交通省 中部地方整備局	中部地方水供給リスク管理検討会 委員
中北 英一	株式会社三菱総合研究所	気候変動を考慮した感染症・気象災害に対する強靱性強化に関するマニュアル整備検討業務検討委員会委員 (座長)
中北 英一	文部科学省研究開発局・気象庁	気候変動に関する懇談会委員
中北 英一	日本エヌ・ユー・エス株式会社	令和 5 年度気候変動適応策の PDCA 手法検討委員会委員
中北 英一	一般財団法人 気象業務支援センター	気候変動予測先端研究プログラム領域課題 3 「日本域における気候変動予測の高度化」 研究運営委員会委員

中北 英一	電源開発株式会社	糠平ダム操作に関する技術検討会委員
中北 英一	(一財) 河川情報センター	理事 (非常勤)
中北 英一	株式会社三菱総合研究所	令和 5 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
中北 英一	国土交通省水管理・国土保全局	気候変動を踏まえた砂防技術検討会 委員
中北 英一	日本エヌ・ユー・エス株式会社	令和 5 年度気候変動の影響に関する WG 自然災害・沿岸域分野 WG 座長
中北 英一	(一社) 日本鉄道施設協会	鉄道防災検討委員会 委員
中北 英一	(国研) 国立環境研究所	外部研究評価委員会委員
中北 英一	日本水大賞委員会	日本水大賞審査部会委員
中北 英一	宇治市	宇治市国民保護協議会委員
中北 英一	近畿地方環境事務所、(一財) 日本気象協会	気候変動適応近畿広域協議会アドバイザー・構成員・座長兼分科会座長
中北 英一	(一財) 河川情報センター	レーダ雨量計活用による河川情報高度化検討会 座長代理
中北 英一	(国交) 近畿地方整備局	近畿地方整備局水文観測委員会 (委員長)
中北 英一	国土交通省 水管理・国土保全局	河川技術評価委員会委員
中北 英一	農林水産省農村振興局	農業農村整備における気候変動対策に関する検討会委員
中北 英一	宇治市	宇治市防災会議委員
中北 英一	環境省地球環境局	中央環境審議会専門委員
中北 英一	第 9 回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議組織委員会	第 9 回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議札幌大会 アドバイザリー会議 共同議長
中北 英一	(国研) 防災科学技術研究所 戦略的イノベーション推進室	防災研究の中長期的なビジョン策定検討に係る有識者会議委員
中北 英一	電源開発株式会社	ダム操作に関する技術検討会委員
中北 英一	大阪市建設局	気候変動を踏まえた新たな浸水対策のあり方検討会 委員
中北 英一	東大阪市	東大阪市防災専門委員
長嶋 史明	京都大学工学部	非常勤講師
中谷 加奈	立命館大学	非常勤講師

中谷 加奈	京都大学工学部	非常勤講師
中谷 加奈	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
中谷 加奈	滋賀県	滋賀県森林審議会委員
中谷 加奈	人事院	試験専門委員
中谷 加奈	滋賀県	滋賀県森林審議会委員
中野 元太	株式会社 8KURASU	サポーター
中野 元太	(一社) 子どものエンパワメントいわて	アドバイザー
中野 元太	立命館大学衣笠総合研究機構	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所客員協力研究員
中野 元太	立命館大学	非常勤講師
中野 元太	京都大学工学部	非常勤講師
中野 元太	(一社) 社会応援ネットワーク	「防災教育実践交流会」プログラム検討委員
中野 元太	人と防災未来センター	災害メモリアルアクション KOBE 企画委員会委員
中野 元太	1.17 防災未来賞ぼうさい甲子園事務局 特定非営利活動法人 さくらネット	1.17 防災未来賞ぼうさい甲子園運営委員
中道 治久	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
中道 治久	鹿児島市	鹿児島市防災・災害対策委員会委員
中道 治久	原子力規制庁原子力規制部	原子炉安全専門審査会臨時委員及び核燃料安全専門審査会臨時委員
中道 治久	鹿児島市 安心安全課	鹿児島市セーフコミュニティ推進協議会委員
中道 治久	ヤフー株式会社	Yahoo! ニュース公式コメンテーター
中道 治久	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会専門委員
中道 治久	鹿児島大学理学部	非常勤講師
中道 治久	第十管区海上保安本部	第十管区海上保安本部が実施する火山活動監視観測への協力
中道 治久	(国大) 東京大学地震研究所	客員教員
中道 治久	京都大学理学部	非常勤講師
中道 治久	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
中道 治久	ヤフー株式会社	Yahoo! ニュースエキスパートコメンテーター

西川 友章	(大利) 情報・システム研究機構 統計数理研究所	外来研究員
西嶋 一欽	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
西嶋 一欽	(一社) 日本免震構造協会	技術委員会 委員
西嶋 一欽	香港天文台	Scientific Advisor
西嶋 一欽	SOMPO リスクマネジメント株式会社	外部アドバイザー
西嶋 一欽	(一社) 建築・住宅国際機構	ISO/TC98 国内分科会 (構造物の設計の基本) 委員、ISO/TC98/SC3/WG2 WG(風荷重)委員
西嶋 一欽	IG-WRDRR	副議長
西嶋 一欽	京都大学工学部	非常勤講師
西嶋 一欽	株式会社 H3	フェロー
西嶋 一欽	(一社) 建築・住宅国際機構	ISO/TC98/SC3/津波 WG 委員
西嶋 一欽	京大オリジナル株式会社	専門領域の相談に対する助言者
西嶋 一欽	香港天文台	Scientific Advisor
西野 智研	京都市	京都市建築物安心安全実施計画推進会議委員
西野 智研	ヤフー株式会社	Yahoo! ニュース公式コメンテーター
西野 智研	(株) 近確機構	評価員
西野 智研	東北工業大学	ゲストスピーカー
西野 智研	京都大学工学部	非常勤講師
西野 智研	株式会社 H3	フェロー
西野 智研	(一財) 日本建築防災協会	定例報告制度のあり方検討会委員
西野 智研	京都市	京都市建築物安心安全実施計画推進会議委員
西野 智研	消防庁、国土交通省	輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会委員
西村 卓也	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部地震調査委員会委員
西村 卓也	株式会社 H3	フェロー
西村 卓也	国土交通省国土地理院	第 28 期地震予知連絡会委員
西村 卓也	(公財) 地震予知総合研究振興会	南海トラフ～南西諸島海溝の地震・津波に関する研究会 委員

西村 卓也	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部政策委員会調査観測計画部会 内陸で発生する地震の調査観測に関する検討ワーキンググループへの参画者
西村 卓也	(公社) 日本地球惑星科学連合	プログラム委員会委員
西村 卓也	日本学術会議事務局	日本学術会議小委員会委員
野田 博之	(国研) 防災科学技術研究所	客員研究員
畑 真紀	EMIW2024 Local Organizing Committee (LOC)	EMIW 2024 LOC 委員
畑 真紀	(国大) 東京大学地震研究所	外来研究員
畑山 満則	(公財) 水道技術研究センター	「水道の基盤強化に資する管路の構築及び情報活用に関する研究」に係る委員
畑山 満則	経済産業省経済産業政策局	産業構造審議会 地域経済分科会 工業用水道政策小委員会 臨時委員
畑山 満則	大阪市水道局	大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議委員
畑山 満則	Malaysia-Japan International Institute of Technology	Visting Professor (客員教授)
畑山 満則	(国大) 滋賀大学	特別招聘教授
畑山 満則	京都大学工学部	非常勤講師
畑山 満則	滋賀県	湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
畑山 満則	滋賀県	甲賀圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
畑山 満則	滋賀県	高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
畑山 満則	国土交通省国土地理院	測量行政懇談会臨時委員
畑山 満則	堺市上下水道局	堺市上下水道事業懇話会 構成員
畑山 満則	経済産業省地域経済産業グループ地域産業基盤整備課	産業構造審議会 地域経済産業分科会 工業用水道政策小委員会 臨時委員
畑山 満則	内閣府宇宙開発戦略推進事務局	準天頂衛星システム事業推進委員会防災分科会構成員
畑山 満則	枚方市	枚方市国民保護協議会委員
畑山 満則	東北大学災害科学国際研究所	防災情報・データ規格委員会 委員
畑山 満則	京都工学院高等学校	スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員
畑山 満則	一般財団法人 日本デジタル道路地図協会	ISO/TC204WG3 コンビナー

畑山 満則	(公財) 水道技術研究センター	「強靱で高度な水道管路システムの構築に関する研究」に係る委員
畑山 満則	(株) アナザーパス	企業防災・BCP 記事の監修
畑山 満則	枚方市	枚方市防災会議委員
畑山 満則	京都府南部消防指令センター整備運用協議会	京都府南部消防指令センター整備事業の京都市総合評価競争入札の実施に係る外部有識者
馬場 康之	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
馬場 康之	串本町	串本町防災会議委員
馬場 康之	(一財) 日本気象協会	「洋上ウィンドファーム開発支援事業/洋上風況観測にかかる試験サイトモデル検討・構築」技術委員会 委員
馬場 康之	京都大学工学部	非常勤講師
廣井 慧	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部専門委員
廣井 慧	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	「南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究会」委員
廣井 慧	枚方市	枚方市情報公開・個人情報保護審議会委員
廣井 慧	名古屋大学未来社会創造機構	招へい教員 (客員准教授)
廣井 慧	京都大学工学部	非常勤講師
廣井 慧	内閣府政策統括官 (防災担当)	南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ委員
廣井 慧	(国研) 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター	協力研究員
廣井 慧	東京都総務局総合防災部	東京都災害情報提供システム (東京都防災ホームページ) (5)再構築等委託技術審査委員会委員
廣井 慧	東京都デジタルサービス局	東京都における「都市のデジタルツイン」ユースケース創出に向けた検討会委員
深畑 幸俊	(公社) 日本地球惑星科学連合	代議員
深畑 幸俊	京都大学理学部	非常勤講師
藤見 俊夫	西日本プラント工業 (株)	行動科学による墜落災害抑制検討に関するアドバイザー
藤見 俊夫	京都大学工学部	非常勤講師
藤見 俊夫	株式会社三菱総合研究所	令和 5 年度気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会委員
藤見 俊夫	(国交) 水管理・国土保全局	経済分析ワーキンググループ委員

古谷 千絵	自営業	文筆業
堀 智晴	国土交通省近畿地方整備局	紀の川流域懇談会委員
堀 智晴	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
堀 智晴	電源開発株式会社	ダム操作に関する技術検討会委員
堀 智晴	(国交) 近畿地方整備局 猪名川河川事務所	猪名川河川レンジャー運営検討委員会委員
堀 智晴	滋賀県	滋賀県環境影響評価審査会 委員
堀 智晴	(国交) 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	木津川上流河川環境研究会委員
堀 智晴	京都大学工学部	非常勤講師
堀 智晴	滋賀県	東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
堀 智晴	滋賀県	湖東圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
堀 智晴	(公財) 河川財団	研究アドバイザー
堀 智晴	京都市防災会議	京都市防災会議専門委員会専門委員
堀 智晴	(国交) 近畿地方整備局、(独) 水資源機構	近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会委員
堀 智晴	電源開発株式会社	ダム操作に関する技術検討会委員
堀 智晴	(国交) 近畿地方整備局	紀の川流域懇談会委員 (座長)
牧 紀男	奈良県	奈良県広域防災に関する懇談会委員
牧 紀男	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
牧 紀男	京都市防災会議	京都市防災会議専門委員会専門委員 (地震部会)
牧 紀男	京都市	京都市都市計画審議会委員
牧 紀男	京都市	京都市建築審査会委員
牧 紀男	生駒市	生駒市防災会議委員
牧 紀男	大阪市役所	大阪市あんしんマンション有識者会議委員
牧 紀男	滋賀県	滋賀県国民保護協議会委員
牧 紀男	(特非) 大規模災害対策研究機構	理事、東海・東南海・南海地震津波研究会座長

牧 紀男	大阪府	大阪府国土利用計画審議会委員
牧 紀男	和歌山県	和歌山県都市計画審議会委員
牧 紀男	東京書籍株式会社	令和 7 年度発行予定中学校社会科教科書『新編新しい社会』編集協力者
牧 紀男	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部専門委員
牧 紀男	大阪府	大阪府住生活審議会委員
牧 紀男	阪南市	阪南市防災会議委員
牧 紀男	田辺市役所	田辺市事前復興計画専門家会議委員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	兵庫県史執筆者
牧 紀男	滋賀県	滋賀県原子力防災専門会議委員
牧 紀男	大阪市	大阪市国民保護協議会委員 (企画部長)
牧 紀男	高石市	高石市防災会議委員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	「南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究会」委員
牧 紀男	一般社団法人防災教育普及協会	理事
牧 紀男	徳島県	徳島県復興指針推進委員会 委員
牧 紀男	京都府	京都府防災会議 京都府戦略的地震防災対策推進部会委員
牧 紀男	京都府	京都府防災会議 地域防災の見直し部会 部会長
牧 紀男	高石市	高石市防災危機管理アドバイザー
牧 紀男	奈良県	奈良県地域防災計画検討委員会委員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	人と防災未来センター上級研究員
牧 紀男	高知県	高知県南海トラフ地震対策推進本部 アドバイザー
牧 紀男	京都大学工学部	非常勤講師
牧 紀男	株式会社 H3	フェロー
牧 紀男	京都市	次期総合計画の在り方検討に係る意見聴取
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	ポストコロナ社会における重要な課題抽出に関する研究会 委員

牧 紀男	特定非営利活動法人 京都丹波・丹後ネット ワーク	特定非営利活動法人 京都丹波・丹後ネットワー ク 理事長
牧 紀男	株式会社防災士研修 センター	研修会 講師
牧 紀男	和歌山市	和歌山市事前復興計画の策定に係る学識経験者
牧 紀男	内閣府科学技術・イ ノベーション推進事 務局	戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）課題 「スマート防災ネットワークの構築」サブ・プロ グラムディレクター
牧 紀男	滋賀県	滋賀県災害廃棄物対策検討会議委員
牧 紀男	京都市	京都市建築審査会委員
牧 紀男	高知県防災関連産業 交流会	高知県防災関連製品認定審査会 審査委員
牧 紀男	（国研）科学技術振 興機構	国際科学技術協力基盤整備事業 国際科学技術協 力推進委員
牧 紀男	（特非）大規模災害 対策研究機構	理事、東海・東南海・南海地震津波研究会 座長
牧 紀男	京都府	京都府総合計画推進会議 副座長
牧 紀男	京都府危機管理部	消防防災ヘリコプターの広域的運用のあり方検討 委員会委員
牧 紀男	国土交通省住宅局	集団規定に係る基準検討委員会委員
牧 紀男	高知市役所	高知市事前復興まちづくり計画策定検討委員会委 員
牧 紀男	パシフィックコンサル タnts株式会社	技術・システム検討ワーキンググループ 座長
牧 紀男	大阪市役所	大阪市あんしんマンション有識者会議委員
牧 紀男	大阪府	大阪府国土利用計画審議会 委員
牧 紀男	放送大学	放送大学の教材作成の協力者
牧 紀男	Malaysia-Japan Interna- tional Institute of Tech- nology	Visiting Professor（客員教授）
牧 紀男	環境省環境再生・資 源循環局	令和 5 年度災害廃棄物対策推進検討会委員
牧 紀男	京都府南部消防指令 センター整備運用協 議会	京都府南部消防指令センター整備事業の京都市総 合評価競争入札の実施に係る外部有識者
牧 紀男	環境省環境再生・資 源循環局	令和 5 年度災害廃棄物対策推進検討会委員
松四 雄騎	（一財）防災研究協 会	非常勤研究員
松四 雄騎	滋賀県	滋賀県環境審議会委員
松四 雄騎	（公社）日本地球惑 星科学連合	環境災害対応委員会委員

松四 雄騎	滋賀県	滋賀県環境影響評価審査会 専門委員
松四 雄騎	京都大学理学部	非常勤講師
松四 雄騎	株式会社 H3	フェロー
松四 雄騎	(公財) 地震予知総合研究振興会	浜岡地域における断層の活動性評価に関する研究会委員
松四 雄騎	株式会社 H3	アドバイザー (総合地質株式会社に向けて実施するプロジェクト「海底地すべりの規模評価の進め方に関するタスク設定と進捗管理のアドバイス」)
松四 雄騎	日本地形学連合	代議員
松四 雄騎	国土交通省 水管理・国土保全局	気候変動を踏まえた砂防技術検討会 委員
松四 雄騎	国土交通省近畿地方整備局 技術スペシャリスト会議 運営委員会	技術スペシャリスト会議 土砂災害研究会アドバイザー
松四 雄騎	京大オリジナル株式会社	専門領域の相談に対する助言
松四 雄騎	大阪府	大阪府土砂災害対策審議会委員
松四 雄騎	株式会社 H3	アドバイザー (大日本ダイヤコンサルタントに向けて実施するプロジェクト「岩石試料の分析評価の進め方に関するタスク設定と進捗管理の支援」)
松四 雄騎	日本学術会議事務局	日本学術会議小委員会委員
松島 格也	大阪市	大阪市港湾審議会委員
松島 格也	大阪市	大阪市建築審査会委員
松島 格也	京都府	京都府自転車活用推進協議会 委員
松島 格也	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
松島 格也	和歌山県	和歌山県都市計画審議会委員
松島 格也	京都市	京都市契約審査委員会委員
松島 格也	兵庫県	公共事業等審査会委員
松島 格也	福知山市	福知山市地域公共交通利便増進実施計画作成委員会委員
松島 格也	京都市	京都市開発審査会委員 (地方公務員第 3 条第 3 項第 2 号の規定による特別職 (非常勤))
松島 格也	大阪市	大阪市都市計画審議会委員
松島 格也	京都府	京都府都市計画審議会臨時委員

松島 格也	大阪市	大阪市都市景観委員会委員
松島 格也	国土交通省近畿地方整備局	由良川流域懇談会委員
松島 格也	大阪市	大阪市建設局下水道施設包括業務委託の PDCA 実施にかかる有識者会議委員
松島 格也	京都府	由良川水系・二級水系河川整備計画検討委員会委員
松島 格也	(一社) 京都ビジネスリサーチセンター (KBRC)	KBRC アセットマネジメントインスティテュート (KBRC-AMI) 研究員
松島 格也	(一社) 建設コンサルタント協会	学識委員
松島 格也	京都府	京都府入札制度等検討委員会委員
松島 格也	大阪府	大阪府都市計画審議会 委員
松島 信一	浜松市役所	廃棄物処理施設設置に係る専門委員
松島 信一	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会委員
松島 信一	(公社) 日本地球惑星科学連合	環境災害対応委員会委員
松島 信一	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会専門委員
松島 信一	京都府	京都府防災会議 京都府戦略的地震防災対策推進部会委員
松島 信一	京都大学工学部	非常勤講師
松島 信一	株式会社 H3	フェロー
松島 信一	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会企画部戦略室員
松島 信一	(国研) 防災科学技術研究所	実大三次元震動破壊実験施設利用委員会委員
松島 信一	浜松市	廃棄物処理施設設置に係る専門委員
丸山 敬	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
丸山 敬	株式会社リアムコンバクト	技術アドバイザー
丸山 敬	板硝子協会	JIS 原案作成委員会および分科会 委員長
丸山 敬	尼崎市	尼崎市環境影響評価審議会委員
丸山 敬	京都大学工学部	非常勤講師
丸山 敬	(一財) 日本建築防災協会	安全・安心ガラス設計施工指針編集委員会委員
宮澤 理稔	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部地震調査委員会委員

宮澤 理稔	株式会社 INPEX	平井ブルー水素・アンモニア一貫実証試験環境対策検討会 委員
宮澤 理稔	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会企画部戦略室員
宮澤 理稔	株式会社 INPEX	南阿賀 CO2EOR 実証試験環境対策検討会委員
宮澤 理稔	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部政策委員会調査観測計画部会 内陸で発生する地震の調査観測に関する検討ワーキンググループへの参画者
宮下 卓也	京都大学工学部	非常勤講師
宮田 秀介	焼岳火山防災協議会	焼岳火山防災協議会 会員
宮田 秀介	NPO 法人山の自然文化研究センター	理事
宮田 秀介	京都大学工学部	非常勤講師
宮田 秀介	(国交) 国土地理院応用地理部	火山防災地形調査(焼岳)検討委員会 委員
宮田 秀介	(国交) 北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所	焼岳火山噴火緊急減災対策砂防計画 改定検討委員会 委員
宮田 秀介	Universitas Muhammadiyah Yogyakarta	非常勤講師
森 信人	Swansea University, UK College of Engineering	Honorary Professor of Swansea University
森 信人	兵庫県	高潮危険度予測協議会 オブザーバー
森 信人	ONE CONCERN, INC.	テクニカルワーキンググループ委員
森 信人	(国交) 北陸地方整備局 黒部河川事務所	下新川海岸保全技術検討委員会委員
森 信人	損害保険料率算出機構	災害科学研究会 風水害部会 主査
森 信人	国土交通省水管理・国土保全局	河川砂防技術基準検討委員会 委員
森 信人	北海道建設部	気候変動の影響を踏まえた設計外力の設定に係る検討懇談会構成員
森 信人	文部科学省研究開発局環境エネルギー課 気象庁大気海洋部リスク対策課	気候変動に関する懇談会 評価検討部会委員
森 信人	(独) 国際協力機構	トンガ火山噴火災害ハザードに係る有識者
森 信人	文部科学省研究開発局	文部科学省技術参与(環境エネルギー科学技術研究担当)
森 信人	横浜国立大学総合学術高等研究院設置準備委員会	台風科学技術研究センター 副センター長、非常勤講師(研究担当)

森 信人	国土交通省水管理・国土保全局	国土交通省社会資本整備審議会専門委員
森 信人	(国研) 海洋研究開発機構	気候変動予測先端研究プログラム カーボンバジェット評価に向けた気候予測シミュレーション技術の研究開発 (物質循環モデル) (領域課題 2) 運営委員会委員
森 信人	京都大学工学部	非常勤講師
森 信人	株式会社 H3	フェロー
森 信人	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」サブワーキンググループ委員
森 信人	一般財団法人 気象業務支援センター	気候変動予測先端研究プログラム領域課題 3「日本域における気候変動予測の高度化」研究運営委員会委員
森 信人	株式会社三菱総合研究所	令和 5 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
森 信人	Florida International University	External reviewer, Technical Review Committee of National Full-Scale Testing Infrastructure for Community Hardening in Extreme Wind, Surge, and Wave Events (NICHE)
森 信人	日本エヌ・ユー・エス株式会社	令和 5 年度気候変動の影響に関する WG 自然災害・沿岸域分野 WG 委員
森 信人	(公財) 地球環境産業技術研究機構	気候変動リスクマネジメント検討 WG 委員
森 信人	島根県	島根県海岸保全気候変動検討委員会 委員
森 信人	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」サブワーキンググループ委員
森 信人	(一財) 沿岸技術研究センター	港湾における気候変動適応策の実装に向けた技術検討委員会委員
森 信人	(国研) 科学技術振興機構	創発的研究支援事業アドバイザー (創発 AD)
森 信人	大阪府	大阪府大阪湾沿岸海岸保全基本計画審議会委員
森 信人	(国研) 科学技術振興機構	社会技術開発事業 (フューチャー・アース構想の推進) 研究推進委員
森 信人	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」委員
森 信人	(一財) 国土技術研究センター	「海岸技術政策研究会」委員
山口 弘誠	(国交) 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所	レーダー雨量計技術応用研究委員会 委員
山口 弘誠	(国交) 水管理・国土保全局水資源部	国土審議会水資源開発分科会専門委員
山口 弘誠	信州大学工学部	特任准教授
山口 弘誠	京都大学工学部	非常勤講師

山口 弘誠	(一財) 河川情報センター	レーダ雨量計活用による河川情報高度化検討会オブザーバー
山口 弘誠	静岡市	(仮称) 二級河川巴川流域水位・氾濫域予測システム構築研究会委員
山崎 新太郎	(国交) 四国地方整備局四国山地砂防事務所	善徳地区地すべり対策検討委員会及び怒田・八畝地区地すべり対策検討委員会 委員
山崎 新太郎	(国交) 四国地方整備局	令和 5 年度 道路防災有識者
山崎 新太郎	北見工業大学	非常勤講師
山崎 新太郎	高知県	高知県・徳島県地すべり対策研究会有識者委員
山下 裕亮	宮崎県	宮崎県公害審査会 委員
山下 裕亮	国立研究開発法人防災科学技術研究所	南海トラフ海底地震津波観測網の整備に関する技術委員会 委員
山下 裕亮	宮崎県総合博物館	宮崎県博物館協議会委員
山下 裕亮	(公財) 地震予知総合研究振興会	南海トラフ～南西諸島海溝の地震・津波に関する研究会 委員
山下 裕亮	(公財) 地震予知総合研究振興会	地震ジャーナル原稿執筆者
山下 裕亮	(公社) 日本地球惑星科学連合	プログラム委員会委員
山田 真史	京都大学工学部	非常勤講師
山田 真史	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	協力研究員
山田 真澄	(国研) 建築研究所	カリキュラム部会委員
山田 真澄	(大利) 情報・システム研究機構 統計数理研究所	客員准教授
山田 真澄	関西地震観測研究協議会	幹事、広報分科会委員
山田 真澄	関西地震観測研究協議会	幹事、広報分科会委員
山田 真澄	台湾中央気象局地震センター	Member of the Advisory Board
山野井 一輝	国立開発法人理化学研究所	客員研究員
山野井 一輝	京都大学工学部	非常勤講師
山野井 一輝	Universitas Muhammadiyah Yogyakarta	Visiting lecturers
山本 圭吾	鹿児島大学理学部	非常勤講師
山本 圭吾	京都大学理学部	非常勤講師

矢守 克也	堺市	堺市防災会議委員
矢守 克也	(特非) 大規模災害 対策研究機構	理事、企画委員会委員長
矢守 克也	株式会社 帝国書院	帝国書院 令和 7 年度版中学校用教科書の部分監 修・校閲者
矢守 克也	京都府福知山市役所	福知山市避難のあり方推進懇話会 会長
矢守 克也	阪南市	阪南市防災会議委員
矢守 克也	NHK 放送文化研究所	「放送研究と調査」レビュー委員
矢守 克也	東北大学研究推進・ 支援機構知の創出セ ンター	東北大学研究推進・支援機構知の創出センター国 際アドバイザーボード委員
矢守 克也	名古屋大学減災連携 研究センター	社会連携推進会議委員
矢守 克也	(国大) 静岡大学防 災総合センター	非常勤講師の委嘱及び静岡大学客員教授の名称付 与
矢守 克也	特定非営利活動法人 日本災害救援ボラン ティアネットワーク	理事
矢守 克也	国土交通省近畿地方 整備局	淀川水系流域委員会 専門家委員会 委員
矢守 克也	東京大学大学院人文 社会系研究科	非常勤講師
矢守 克也	関西学院大学災害復 興制度研究所	顧問
矢守 克也	(国大) 静岡大学	非常勤講師
矢守 克也	高知県	高知県南海トラフ地震対策推進本部 アドバイザ ー
矢守 克也	京都大学工学部	非常勤講師
矢守 克也	福岡大学	非常勤講師
矢守 克也	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」サブワーキング グループ委員
矢守 克也	大阪府	大阪府防災会議専門委員
矢守 克也	国土交通省水管理・ 国土保全局	水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主 体を増やす流域治水の自分事化検討会委員
矢守 克也	(株) サイバー創研	内部検討委員会委員 (防災ナッジ実証に関する業 務設計助言)
矢守 克也	環境省大臣官房環境 保健部環境安全課	熱中症対策推進検討会委員
矢守 克也	福井県大野市	防災アドバイザー
矢守 克也	関西広域連合広域防 災局	関西広域連合計画策定委員会委員

矢守 克也	宮城県教育委員会	宮城県多賀城高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員
矢守 克也	大阪府堺市	堺市防災会議委員
矢守 克也	(一財) 関西情報センター	「関西防災減災推進プラットフォーム」連絡会座長
矢守 克也	(特非) 大規模災害対策研究機構	理事、企画委員会委員長
矢守 克也	内閣府	「地域防災力の向上を目指すアドバイザーリーボード」に係る委員会委員
矢守 克也	神戸学院大学	客員教授
矢守 克也	関西広域連合	関西広域連合協議会委員
矢守 克也	(一財) 関西情報センター	令和 5 年度地域防災力の向上を目指すアドバイザーリーボード委員
矢守 克也	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」サブワーキンググループ委員
矢守 克也	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」委員
矢守 克也	国土交通省 気象庁	「長時間継続する津波に関する情報提供のあり方検討会」委員
吉田 聡	串本町	串本町防災会議委員
吉田 聡	気象庁大気海洋部	異常気象分析作業部会委員
吉村 令慧	The 26th EMIW 誘致実行委員会	EMIW2024LOC 委員
吉村 令慧	兵庫県立大学大学院理学研究科	メンター
吉村 令慧	富山大学大学院理工学研究科	ゲストスピーカー
吉村 令慧	EPS 誌運営委員会	Earth, Planets and Space(EPS)誌 会計監査委員
米山 望	(株) ハイドロ総合技術研究所	研究アドバイザー
米山 望	(一社) 海洋インバースダム協会	代表理事
米山 望	(一財) 電力中央研究所原子力リスク研究センター	立地技術研究会委員
米山 望	関西大学	非常勤講師
米山 望	京都大学工学部	非常勤講師
米山 望	(一財) 港湾空港総合技術センター	汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価基準作成検討委員会 委員
米山 望	(一社) ウォーターフロント協会	汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度管理運営委員会委員
萬 和明	(一社) 流出予測研究所	監事

萬 和明	京都大学工学部	非常勤講師
------	---------	-------

※その他、非公開 36 件

6.3 研究発表講演会・公開講座

6.3.1 研究発表講演会

◆令和 5 (2023) 年度

- ・ 日時・会場：2024 年 2 月 21・22 日（土）9：00～16：30／宇治キャンパス内各会場，プレナリーセッションは YouTube ライブ配信も実施
- ・ 災害調査報告 2 件：
 - ① 2023 年 2 月に発生したトルコ南部の地震に伴う斜面災害（教授 王功輝）
 - ② 令和 6 年能登半島地震：2020 年から継続した能登半島群発地震と 2024 年能登半島地震（M7.6）—臨時・定常観測から得られた震源過程，地殻変動，地殻構造—（教授 西村卓也），令和 6 年能登半島地震における建物被害と発生した地震動（教授 境有紀），令和 6 年能登半島地震における斜面変動発生場の地形・地質条件（教授 松四雄騎），能登半島における津波災害の特徴（助教 宮下卓也），令和 6 年能登半島地震に伴う地震火災・津波火災について（准教授 西野智研），令和 6 年能登半島地震における行政・支援団体での災害対応とインフラ復旧（教授 畑山満則）
- ・ 特別講演 3 件：強震動を科学した（教授 岩田 知孝），To the South（教授 井口 正人），京都大学防災研究所で行った「風」の研究を振り返って（教授 丸山 敬）
- ・ パラレルセッション：口頭発表 154 件，ポスター発表 50 件
- ・ 来場者 407 名（うち，発表者 204 名，名誉教授 11 名，所外（芳名帳＋中国浙江大学からの訪問者）157 名）
- ・ プレナリーセッションオンライン視聴者（ニユニークユーザー）：1 日目 793 名，2 日目 278 名
- ・ 優秀発表賞受賞者 15 名：宮副真夢，中下早織，岡崎恵，鹿倉佳央梨，伊藤駿，中村亮太，岡本悠希，松本知将，Changze LI，和田好世，黒澤宗一郎，田中穂乃香，後藤彰太，吉村嶺，Jiachao CHEN

令和5年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会

2024年

2月21日（水）

～22日（木）

会場 京都大学宇治キャンパス
（一部YouTube配信）

▶21日 9:00～ 開会の言葉 所長 中北英一

災害調査報告

▶ 21日 9:20～

2023年2月に発生したトルコ南部の地震に伴う斜面災害

教授 王 功輝

▶ 21日 9:40～

令和6年能登半島地震

2020年から継続した能登半島群発地震と2024年能登半島地震（M7.6）

—臨時・定常観測から得られた震源過程、地殻変動、地殻構造—

令和6年能登半島地震における建物被害と発生した地震動

令和6年能登半島地震における斜面変動発生場の地形・地質条件

能登半島における津波災害の特徴

令和6年能登半島地震に伴う地震火災・津波火災について

令和6年能登半島地震における行政・支援団体での災害対応とインフラ復旧

教授 西村 卓也

教授 境 有紀

教授 松四 雄騎

助教 宮下 卓也

准教授 西野 智研

教授 畑山 満則

特別講演

▶ 22日 14:00～

強震動を科学した

教授 岩田 知孝

▶ 22日 14:40～

To the South

教授 井口 正人

▶ 22日 15:20～

京都大学防災研究所で行った 「風」の研究を振り返って

教授 丸山 敬

▶22日 16:10～ 閉会の言葉 副所長 洞岡良介／閉会後 懇親会・優秀発表賞授賞式ほか

パラレルセッション

▶21日

10:55～12:55 口頭発表（1）

13:05～15:20 ポスター発表

コアタイム

15:30～18:30 口頭発表（2）

▶22日

9:00～13:00 口頭発表（3）

特別セッション



京都大学防災研究所
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

〔主催〕 京都大学防災研究所 〔後援〕 一般財団法人 防災研究協会
〔お問合せ〕 京都大学宇治地区事務部研究協力課 TEL: 0774-38-3350
<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/19898/>



6.3.2 公開講座

◆令和 5 (2023) 年度

「地震・火山災害に備える 近畿圏の場合も含めて」

日 時： 2023 年 9 月 9 日 (土) 10:00~16:30

会 場： 京都大学宇治おうばくプラザきはだホール (ハイブリッド開催)

受講料： 無料

来場者数： 会場 70 名 (定員 280 名 事前申込者 97 名 当日来場者 7 名)

オンライン 320 名 (定員 300 名 事前申込者 539 名)

CPD 受講証明書発行： 会場 15 名, オンライン 71 名

概 要： なぜ日本には地震・火山災害が多いのでしょうか？ その謎の背景から、地震・火山災害とその対策まで、2018 年大阪府北部の地震や南海トラフによる大阪湾の津波など近畿圏の場合にも言及しながらお話しします。

講演内容：

- ・ 開会の挨拶 (所長 中北英一)
- ・ 日本列島とプレートテクトニクス (教授 深畑幸俊)
- ・ 地震被害は想定通りとなっているのだろうか？ —2018 年大阪府北部の地震を例に— (教授 後藤浩之)
- ・ 火山災害 —大規模噴火の影響はどこまで及ぶ？— (准教授 爲栗健)
- ・ 津波の一般的性質と南海トラフ地震を想定した津波シミュレーション (助教 宮下卓也)
- ・ 災害に備える —リスク管理と危機管理— (教授 多々納裕一)
- ・ 質疑 (教授 矢守克也 (司会), 講演者一同)
- ・ 閉会の挨拶 (副所長 渦岡良介)



宇治会場 & オンライン
ハイブリッド開催

京都大学防災研究所公開講座

地震・火山災害に備える

近畿圏の場合も含めて

日時

2023
9/9 (土)

10:00 - 16:30

オンライン

宇治会場

入場料

定員

対象

備考

ZOOM ミーティング形式

京都大学宇治キャンパスきはだホール
〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄
■JR 黄檗駅下車 徒歩5分 ■京阪黄檗駅下車 徒歩6分

無料

会場 280 名 / オンライン 300 名 (いずれも先着順)

一般・実務者・大学生・高校生

本講座は、土木学会認定 CPD プログラムです

受講申込みはこちらから



プログラム

10:00 ~ 10:10	開会の挨拶	所長 中北英一			
10:10 ~ 11:00	日本列島とプレートテクトニクス	教授 深畑幸俊			
11:00 ~ 11:50	地震被害は想定通りとなっているのだろうか？ ー2018年大阪府北部の地震を例にー	教授 後藤浩之			
11:50 ~ 13:00	(昼休み)				
13:00 ~ 13:50	火山災害 ー大規模噴火の影響はどこまで及ぶ？ー	准教授 鳥栗健			
13:50 ~ 14:40	津波の一般的性質と南海トラフ地震を 想定した津波シミュレーション	助教 宮下卓也			
14:40 ~ 14:45	(休憩)				
14:45 ~ 15:35	災害に備える ーリスク管理と危機管理ー	教授 多々納裕一			
15:35 ~ 15:45	(休憩)				
15:45 ~ 16:25	質疑(質問は会場受講者からのみに限定) 教授 矢守克也(司会)、講演者一同				
16:25 ~ 16:30	閉会の挨拶	副所長 満岡良介			



京都大学防災研究所
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

□問合せ先 京都大学防災研究所公開講座事務局
所在地: 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学宇治地区事務部研究協力課拠点支援掛
メール: kokai05@dpri.kyoto-u.ac.jp
イベントページ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/18966/>



宇治会場 & オンライン

ハイブリッド開催

京都大学防災研究所公開講座



地震・火山災害に 備える

近畿圏の場合も含めて

なぜ日本には地震・火山災害が多いのでしょうか？ その謎の背景から、地震・火山災害とその対策まで、2018年大阪府北部の地震や南海トラフによる大阪湾の津波など近畿圏の場合にも言及しながらお話しします。



日本列島とプレートテクトニクス

教授 深畑幸俊

日本列島では非常に活発な地震・火山活動が生じています。他のプレート沈み込み帯と比べても特異で多様な活動がなされているのか、プレートテクトニクスを単純に適用しただけでは解けないその謎に迫ります。



地震被害は想定通りとなっているのだろうか？ -2018年大阪府北部の地震を例に-

教授 後藤浩之

災害の軽減を目的として様々な被害想定がなされていますが、地震被害は想定通りとなっているのでしょうか？ 2018年に発生した大阪府北部の地震の被害状況を概観した上で、被害想定の見え方、そして想定外に対する考え方について紹介します。



火山災害 -大規模噴火の影響はどこまで及ぶ？-

准教授 為栗健

火山災害は地震や豪雨と比べると頻度はさほど高くないですが、ひとたび噴火が発生すると火山周辺で大きな被害を生じます。大規模な噴火になると火山周辺のみならず日本中に影響を及ぼした例もあります。桜島や富士山などで大規模噴火が発生した時にどのような影響が生じるか紹介します。



津波の一般的性質と南海トラフ地震を想定した津波シミュレーション

助教 宮下卓也

大きな災害をもたらす津波は、風波などの日常的に見られる波とは異なる性質を持つことが知られています。その違いについて詳しく説明するとともに、南海トラフ沿いでの地震を想定した津波シミュレーションについて紹介します。



災害に備える -リスク管理と危機管理-

教授 多々納裕一

地震や津波、火山噴火が起きてもそのまま災害とはなりません。人々とその暮らしを守る備えがあれば災害を防ぐことができます。リスク管理や危機管理の考え方を通じて、被害を受けにくく回復力を高めるための原則についてお話しします。

受講申込み

8月25日までにイベントページ(<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/18966/> 右の受講申込み二次元コード)から受講登録をお願いします。申込みの際に受講形式(会場/オンライン)をご選択ください。

□備考

- ・講義資料をイベントページに掲載します(9月初めを予定)。
- ・会場受講者の方は必要に応じてプリントアウトしてご持参ください。
- ・受講者へのご連絡事項(開催中止など)がある場合はイベントページに掲載します。
- ・本公開講座の過去の講演映像を「京都大学OCW」「京都大学防災研究所YouTubeチャンネル」からご覧になれます。

受講申込みはこちらから



6.3.3 その他報告会

◆令和 5 (2023) 年度

「令和 6 年能登半島地震災害を理解する」

日時：2024 年 1 月 28 日 13:20 ～ 16:40

会場：京都大学宇治おうばくプラザきはだホール／オンライン

参加費：無料

参加者数：オンライン 273 名，きはだホール 28 名〔内訳：学内（講演者を除く）9 名，学外 13 名，報道 NHK3 名・読売新聞 1 名・朝日新聞 2 名〕

プログラム：

開会挨拶 中北英一（防災研究所所長）

震源過程

GNSS 観測による M7.6 地震前・地震時・地震後の地殻変動（西村卓也）

能登半島地震で観測された強震動特性及び震源過程（浅野公之）

既往地震と現地観測微動から求めた強震観測点の地盤増幅特性と観測強震動特性（川瀬 博）

建物被害

発生した地震動の性質と建物被害（境有紀）

非木造建物の被害と機能継続性（倉田真宏）

兵庫県南部地震で構築した構造物被害予測モデルによる推定建物被害率（川瀬博）

土木構造物・ライフライン等被害

道路・ライフライン等被害（後藤浩之（録画））

斜面崩壊・地盤災害

斜面崩壊が発生した箇所の地形的特徴（齊藤隆志）

石川県・富山県における液状化被害（上田恭平）

津波被害

能登半島における津波災害の特徴（宮下卓也）

新潟県上越市における津波河川遡上による氾濫被害および沿岸部の津波被害（馬場康之（オンライン））

火災被害

2024 年能登半島地震に伴う地震火災・津波火災について（西野智研）

災害対応

2024 年能登半島地震対応時における行政・支援団体における情報共有について（畑山満則）

能登半島地震から見た南海トラフ地震対策（矢守克也）

閉会挨拶 矢守克也（防災研究所地震津波研究ユニット長）

（閉会后）メディアとの質疑

6.4 京大ウィークス

6.4.1 宇治キャンパス公開

期間：令和 5 年 10 月 21 日～10 月 22 日（宇治川オープンラボラトリーは 21 日のみ開催）

テーマ：ふれてみよう！未来をつくるサイエンス

特別講演会：「私の足元に活断層」岩田 知孝 教授

防災研究所公開講演会：実施せず

公開ラボ：8（宇治川オープンラボラトリー含む）

総合展示：4

参加者数：1,566（うち、宇治川オープンラボラトリーの参加者（事前予約）は 126 名）



公開ラボ

プログラム名	対象	会場
VR（仮想現実）で水害を体験してみよう	小・中・高・一般	本館 S 棟 5 階 S519D 号室
来て・みて・感じて 水資源	幼・小・中・高・一般	本館 E 棟 1 階 E114N 号室
斜面災害研究の最先端： 地震時地すべり再現試験	小・中・高・一般	本館 E 棟 1 階 E107D 号室
飛ばせ気球！見つめろ地球！ —空を診察して豪雨の予測に役立てます—	幼・小・中・高・一般	中庭駐車場
遠心力载荷装置を用いた液状化地盤の公開実験	小・中・高・一般	遠心力载荷実験室
近畿の地震と活断層を探る	小・中・高・一般	地震災害研究センター 研究棟 C101 号室
振動台による地震の揺れの再現	中・高・一般	強震応答・耐震構造実験室
災害を起こす自然現象を体験する	幼・小・中・高・一般	宇治川オープンラボラトリー

※幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生

6.4.2 観測所でのイベント

観測所	イベント名	実施日	参加者数
桜島火山観測所	桜島火山観測施設探検ツアー	7 月 22 日	80
宮崎観測所	宮崎観測所施設一般公開・ミニ講座	7 月 22 日, 23 日	32
阿武山観測所	阿武山観測所「特別公開」地震・防災研究の最前線	10 月 8 日, 9 日	344
徳島地すべり観測所	大歩危峡谷の自然と歴史を学ぶジオツアー	10 月 28 日	20

6.5 その他の公開

6.5.1 防災研究所（宇治キャンパス）への来訪者数

※広報出版企画室で調整したもののみ，宇治キャンパス公開は含まない

	R5
小中高の学校	5 件
	87 人
大学、教育研究機関	10 件
	218 人
一般団体	2 件
	15 人
政府機関	1 件
	26 人
学内関係者	0 件
	0 人
合計	18 件
	346 人

（上段は件数，下段は人数を表す）

6.5.2 阿武山観測所サイエンスミュージアム計画の活動状況

項目	令和 5 年度
訪問者数	3,426 人
見学会（一般・団体）	75 回
イベント（講座など）	8 回
阿武山サポーターの所外活動	18 回

※訪問者数は京大ウィークス参加者数 344 名を含む

6.5.3 施設、設備、資料及びデータ等の利用状況等

○施設、設備の利用状況等

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
	遠心力载荷装置		都市や社会基盤を形成する地盤・構造物系の空間・時間スケールを 50～200 分の 1 に縮小した模型実験を行う際に、重力効果の再現のため、重力の 50～200 倍の遠心力を作用させ、その変形や破壊挙動を調べる装置である。 (平成 21 年度末新設、平成 22 年度より稼働開始)
	稼働状況		令和 5 年度
	使用者の所属機関		年間使用人数
			共同利用者数
	学内（法人内）	199	199
	国立大学	44	44
	公立大学	0	0
	私立大学	0	0
	大学共同利用機関法人	0	0
1	独立行政法人等公的研究機関	0	0
	民間機関	15	15
	外国機関	0	0
	その他	0	0
	学外 計	59	59
	計	258	258
			令和 5 年度
	稼働率(b/a)		90.2%
	年間稼働可能時間(a)		1,800
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		1,624
	共同利用に供した時間(c)		1,624
	共同利用以外の研究に供した時間(d)		0
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
2	白浜海象観測所・田辺中島高潮観測塔		海洋観測を研究目的とする数少ない現地観測施設。和歌山県田辺湾湾口部の観測塔，観測船，および観測所建物から構成される。観測塔では気象，海象に関する基礎データが 24 時間 365 日連続観測されている。また，学内外の研究者と大気海洋相互作用，台風接近時の荒天時のデータ観測等の共同研究を継続的に実施している（令和 4 年度，科研費 2 課題）。観測データは Web での公開のほか，研究機関，地方自治体等からの要望に応じて提供している（令和 4 年度の提供件数：5 件）
	稼働状況	令和 5 年度	
	使用者の所属機関	年間使用人数	
		共同利用者数	
	学内（法人内）	177	18
	国立大学	3	0
	公立大学	0	0
	私立大学	0	0
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	0	0
	民間機関	13	0
	外国機関	0	0
	その他	54	0
	学外 計	70	0
	計	247	18
		令和 5 年度	
	稼働率(b/a)	100.0%	
	年間稼働可能時間(a)	8,760	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)	8,760	
	共同利用に供した時間(c)	8,760	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)	0	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	0	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
3	境界層風洞実験装置		単回路吹出型の低風速境界層風洞測で、定部は幅 2.5m、高さ 2m(可変)、長さ 21m あり、風速は 0.2～25m/s まで変更可能である。流入部の乱れ強さ 0.4%以下で、天井高を変えることにより測定部の静圧勾配を調節することができる。また、風洞実験装置が設置された建物の内側は吸音壁となっており、実験時の騒音を低く抑えることができる。
	稼働状況	令和 5 年度	
	使用者の所属機関	年間使用人数	
		共同利用者数	
	学内（法人内）	51	0
	国立大学	0	0
	公立大学	0	0
	私立大学	5	5
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	0	0
	民間機関	33	0
	外国機関	0	0
	その他	0	0
	学外 計	38	5
	計	89	5
		令和 5 年度	
	稼働率(b/a)	70.8%	
	年間稼働可能時間(a)	720	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)	510	
	共同利用に供した時間(c)	40	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)	204	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	266	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
4	桜島火山観測所		わが国で最も活動的な火山である桜島に火山噴火予知研究を目的として設置された施設。桜島や薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島などに設置された衛星観測点からの火山性地震、地盤変動などのデータを集約する霧島火山帯に属する火山群の中核的拠点である。	
	稼動状況		令和 5 年度	
	使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数	
	学内（法人内）	150	60	
	国立大学	150	120	
	公立大学	0	0	
	私立大学	0	0	
	大学共同利用機関法人	0	0	
	独立行政法人等公的研究機関	120	80	
	民間機関	700	0	
	外国機関	100	100	
	その他	1,600	0	
	学外 計	2,670	300	
	計	2,820	360	
			令和 5 年度	
	稼働率(b/a)		100.0%	
	年間稼動可能時間(a)		8,760	
	年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)		8,760	
	共同利用に供した時間(c)		8,760	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)		0	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
5	地震時地すべり再現試験機	○	地震時地すべり再現試験機は鉄のせん断箱を有する地震時地すべり再現試験機（2 台）と可視型地震時地すべり再現試験機の合計 3 台からなる。最高せん断速度 3m/s、最大垂直応力 4MPa、載荷波形最大周波数 5Hz の世界最高性能のリングせん断型試験機であり、地震時、豪雨時、クリープ等、あらゆる地すべりのせん断面の状態を再現することが可能な試験機である。国内外からの共同研究等、使用依頼は多い。
	稼働状況	令和 5 年度	
	使用者の所属機関	年間使用人数	
		共同利用者数	
	学内（法人内）	145	15
	国立大学	21	3
	公立大学	4	1
	私立大学	0	0
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	0	0
	民間機関	245	245
	外国機関	30	6
	その他	35	0
	学外 計	335	255
	計	480	270
		令和 5 年度	
	稼働率(b/a)	63.3%	
	年間稼働可能時間(a)	13,840	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)	8,760	
	共同利用に供した時間(c)	2,450	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)	5,250	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	1,060	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
	分散並列型強震応答実験装置		構造物等の地震応答性状とともに被害原因を究明し信頼性の高い耐震設計法、耐震補強法、さらに地震応答制御法を開発することをめざして、強震動を受けた構造物の地震応答ならびに損傷過程などの実現象を忠実に再現することを目的に、3 次元的地震動を入力でき、かつ、実構造物や実地盤に近い模型の強震応答を再現し得る実験装置として設置し利用している。平成 24 年度より「長周期振動実験システム」と連携しての利用が可能となり、長周期かつ大振幅の入力に対する構造物の耐震安全性を確保するための実験が可能となった。
6	稼働状況		令和 5 年度
	使用者の所属機関		年間使用人数
			共同利用者数
	学内（法人内）	5	5
	国立大学	0	0
	公立大学	0	0
	私立大学	0	0
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	0	0
	民間機関	8	0
	外国機関	0	0
	その他	0	0
	学外 計	8	0
	計	13	5
			令和 5 年度
	稼働率(b/a)		40.5%
	年間稼働可能時間(a)		1,856
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		752
	共同利用に供した時間(c)		0
	共同利用以外の研究に供した時間(d)		384
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		368

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
	広帯域電場磁場観測装置		MT 法（地磁気地電位法）を用いて地下深部までの電気比抵抗構造推定するために使用する。電場変化を 2 成分と地磁気変化 3 成分の計 5 成分を観測することができ、観測装置は GPS 信号に同期し、多点同時観測が可能。観測可能な周波数帯域は 400Hz-50000 秒（広帯域）である。また、10000Hz-10 秒（可聴域）での観測（AMT 観測）も可能。具体的な装置の構成は以下の通りである。○フェニックス・ジオフィジックス社製の広帯域 MT（400Hz-50000 秒）観測装置が 3 式。これらは AMT（10000Hz-10 秒）観測も可能。磁場コイルセンサーは、広帯域 MT 用 5 式（15 本）・AMT 用 5 式（6 本）。○上記機器と同サンプリング間隔で収録可能な NT システム社製の電磁場 5 成分・電場 2 成分ロガーがそれぞれ 3 式（計 6 式）ある。電磁場 5 成分ロガーのセンサーには、フェニックス・ジオフィジックス社製のインダクションコイルを用いる。なお、これらロガーは、メトロニクス社製の MT 機器のサンプリングにも対応可。○フラックスゲート磁力計を用いるテラテクニカ社製長周期 MT（128Hz-DC）観測装置 2 式。○簡易フラックスゲート磁力計、バーティントン社製の簡易計用センサー 2 式とテラテクニカ社製の空中磁気探査用小型システム 3 式も使用可能。
7	稼働状況		令和 5 年度
	使用者の所属機関		年間使用人数
			共同利用者数
	学内（法人内）	22	22
	国立大学	34	34
	公立大学	6	6
	私立大学	0	0
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	0	0
	民間機関	2	2
	外国機関	0	0
	その他	0	0
	学外 計	42	42
	計	64	64
			令和 5 年度
	稼働率(b/a)		100.0%
	年間稼働可能時間(a)		6,600
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		6,600
	共同利用に供した時間(c)		6,600

共同利用以外の研究に供した時間(d)	0
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	0

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
8	地震連続観測装置		地震予知研究センターの各観測所および各観測点から伝送されてきた地震観測データを処理して、地震波形連続ファイルや、地震検測ファイル、震源ファイルを作成し、地震予知研究の基礎資料として全国の研究者の利用に供している。気象庁、防災科学技術研究所、他大学等とリアルタイムでデータ交換を行い、基盤的観測網の一部として気象庁がデータを利用するほか、地震学の各分野での研究に利用されている。
	稼働状況	令和 5 年度	
	使用者の所属機関	年間使用人数	
		共同利用者数	
	学内（法人内）	50	5
	国立大学	200	20
	公立大学	20	2
	私立大学	10	1
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	25	3
	民間機関	5	0
	外国機関	30	3
	その他	0	0
	学外 計	290	29
	計	340	34
		令和 5 年度	
	稼働率(b/a)	100.0%	
	年間稼働可能時間(a)	8,760	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)	8,760	
	共同利用に供した時間(c)	8,760	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)	0	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	0	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
9	宇治川オープンラボラトリー	△	宇治川オープンラボラトリーは、水理学・土砂水理学関連の実験施設としては世界最大規模を誇り、実験水路・施設の数のみならず、その独自性においても世界有数のものが集積している。そこから数多くの世界最高水準の実験研究成果が生み出されている。また、実験施設を利用した防災教育にも活用されており、研究・教育拠点としても大いに機能している。 特に、平成 25 年より稼働している“津波再現水槽”は、3 つの津波造波機構を有する世界でもまれな構成となっており、現実の津波波形を、精度よく再現できる。また、長さ 40m、幅 4m と断面水路としても大きいため、大縮尺での実験が可能である。
	稼働状況	令和 5 年度	
	使用者の所属機関	年間使用人数	
		共同利用者数	
	学内（法人内）	478	454
	国立大学	74	41
	公立大学	50	0
	私立大学	148	0
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	9	0
	民間機関	1,565	1,519
	外国機関	84	0
	その他	657	0
	学外 計	2,587	1,560
	計	3,065	2,014
		令和 5 年度	
	稼働率(b/a)	100.0%	
	年間稼働可能時間(a)	1,952	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)	1,952	
	共同利用に供した時間(c)	1,126	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)	750	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	76	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
10	地震災害研究センター・阿武山観測所		阿武山観測所は 1930 年頃に設立された歴史ある地震観測所であり、現在は、「満点計画」と呼ばれる次世代型地震観測計画の基地、および、世界最先端だった歴史的地震計等を活用した地震学や防災研究のアウトリーチ活動や防災教育のための拠点（サイエンスミュージアム）として活用する計画を進めている。科学と社会、あるいは防災の専門家と一般の人とをしっかりとつなぎ直すことを目指し、一般市民のボランティアから成る「阿武山サポーター」が施設の公開だけでなく、出前型の地震授業などの観測所外の活動も行っている。	
	稼働状況		令和 5 年度	
	使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数	
	学内（法人内）		81	48
	国立大学		36	0
	公立大学		0	0
	私立大学		19	19
	大学共同利用機関法人		0	0
	独立行政法人等公的研究機関		3	3
	民間機関		3	0
	外国機関		0	0
	その他		3,284	0
	学外 計		3,345	22
	計		3,426	70
			令和 5 年度	
	稼働率(b/a)		100.0%	
	年間稼働可能時間(a)		1,600	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		1,600	
	共同利用に供した時間(c)		800	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)		240	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		560	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
11	衝撃試験装置		エアークannonを用いた衝撃試験を行うことができる。内径 100mm の円管に入れることができるものを射出し、試験体に衝突させる。重さ 3kg の角材で 75m/s まで加速できる。また、圧力载荷装置を備えており、900mm×1100mm までの大きさのパネルに、±2500Pa までの繰り返し圧力载荷を行うことができる。ガラス・外装材の耐衝撃性能試験 (ASTM E1886-04, E1996-04, ISO 16932, JIS R 3109 に準拠)を行うことができる。
	稼働状況	令和 5 年度	
	使用者の所属機関	年間使用人数	
		共同利用者数	
	学内（法人内）	25	0
	国立大学	0	0
	公立大学	0	0
	私立大学	0	0
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	0	0
	民間機関	16	0
	外国機関	0	0
	その他	0	0
	学外 計	16	0
	計	41	0
		令和 5 年度	
	稼働率(b/a)	17.8%	
	年間稼働可能時間(a)	720	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)	128	
	共同利用に供した時間(c)	0	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)	96	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	32	

	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的
12	徳島地すべり観測所		斜面未災学研究センターが管理する徳島県三好市に位置する地すべり専門の観測研究施設。四国山地の複数箇所の地すべりの観測を実施している他、災害調査の拠点としても利用されている。滞在型施設であり、他大学を含めて学生・長期間に亘って滞在する施設を保持している。所属教員は本観測所を拠点に四国山地の内外で複数の研究課題を実施している他、技術者向けの講習会、市民向けの地すべりや地球科学に関する普及活動を京大ウィークスなどの一環で実施している。
	稼動状況	令和 5 年度	
	使用者の所属機関	年間使用人数	
		共同利用者数	
	学内（法人内）	537	0
	国立大学	28	28
	公立大学	15	15
	私立大学	0	0
	大学共同利用機関法人	0	0
	独立行政法人等公的研究機関	10	0
	民間機関	26	0
	外国機関	0	0
	その他	28	0
	学外 計	81	43
	計	618	43
		令和 5 年度	
	稼働率(b/a)	100.0%	
	年間稼動可能時間(a)	8,760	
	年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)	8,760	
	共同利用に供した時間(c)	8,760	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)	0	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)	0	

※ ○又は△を記入した施設・設備について、設置年月日、設置時の導入経費及び年間の運転経費を以下に記載

	研究施設・設備名	A	設置年月日		備考
		B	設置時の導入経費（千円）		
		C	運転経費（千円／年）		
5	地震時地すべり再現試験機	A	1995 年 3 月 31 日 1996 年 3 月 28 日 2002 年 3 月 29 日		3 台を順次設置
		B	117,111		科学研究費補助金、阪神・淡路大震災後の補正予算、科学技術振興調整費
			国費	117,111	
			その他	0	
		C	令和 5 年度	4,550	当該施設の光熱水料、保守費、機能増加費等の前年度実績額
	研究施設・設備名	A	設置年月日		備考
		B	設置時の導入経費（千円）		
		C	運転経費（千円／年）		
9	宇治川オープンラボラトリー	A	1953 年 8 月 1 日		
		B	4,293,506		施設新営費
			国費	4,293,506	
			その他	0	
		C	令和 5 年度	23,009	当該施設の光熱水料、保守費等の前年度実績額

施設・設備の概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

地震時地すべり再現試験機

施設・設備の概要

地震時地すべり再現試験機は鉄のせん断箱を有する地震時地すべり再現試験機（2台）と可視型地震時地すべり再現試験機の合計 3 台からなる。最高せん断速度 3m/s、最大垂直応力 4MPa、載荷波形最大周波数 5Hz の世界最高性能のリングせん断型試験機である。

主な用途

地震時、豪雨時、クレープ等、あらゆる地すべりのせん断断面の状態を再現し、地すべりの発生・運動を予測することが可能な試験機である。また、断層ガウジの形成過程や内部構造に関する研究も実施できる。

利用状況等

設置年月日：平成 7 年 3 月 31 日；平成 8 年 3 月 28 日；
平成 14 年 3 月 29 日（3 台を順次設置）
導入経費：117,111（千円）（うち国費：117,111（千円））
運転経費：7,500（千円）／年（光熱水料、整備・運転に係る
人件費、備品費含む）

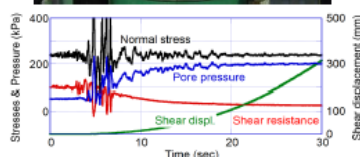
<利用の状況（令和 5 年度）：3 台での合計>

- ・実稼働実績：合計 365 日（13,840 時間）、稼働率 63.3%
- ・学内研究：5,250 時間（7 課題）、年間使用人数 145 名
- ・共同研究：8,590 時間（6 課題）、年間使用人数 335 名
- ・主な利用機関：京都大学大学院理学研究科、USGS など
- ・その他特徴的な利用方法等：国内外からの依頼研究も多い

<今後の計画>

日本国内の数多くの大学や研究機関と連携して、共同研究を推進する。また、海外の研究者・技術者、国内研究機関、行政機関との共同実験と成果の公開を通じ、社会貢献も目指す。

イメージ図



地震波を用いた地すべり再現実験結果

施設・設備の概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

宇治川オープンラボラトリー

施設・設備の概要

宇治川オープンラボラトリーは、水理学・土砂水理学関連の実験施設としては世界最大規模を誇り、実験水路・施設の数のみならず、実際に近い津波を再現し得る装置や実スケールの階段歩行水路等を有するなど、施設・設備の独自性においても世界有数のものが集積している。

主な用途

数多くの世界最高水準の実験研究成果が生み出されている。また、実験施設を利用した防災教育にも活用されており、研究・教育拠点としても大いに機能している。

利用状況等

設置年月：昭和 28 年 8 月 1 日
導入経費：4,293,506（千円）（うち国費：4,293,506（千円））
運転経費：23,107（千円）／年（光熱水料、整備・運転に係る
人件費、備品費含む）

<利用の状況（令和 5 年度）>

- ・実稼働実績：合計 244 日（1952 時間）、稼働率 100 %
- ・学内研究：750 時間（10 課題）、年間使用人数 454 名
- ・学外研究：1,126 時間（7 課題）、年間使用人数 1,519 名
- ・主な利用機関：京都大学大学院農学研究科、(株)ニュージェック
- ・その他特徴的な利用方法等：学部授業の一環として施設の一部を利用している他、高校生向けの体験学習や、消防・警察の救助訓練などに利用している。

<今後の計画>

・宇治サブキャンパスとしてのミッションを果たすべく、大学の研究成果の発信や研修・体験学習の実施など、研究・教育拠点としての機能を強化する。

イメージ図



資料・データの概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

桜島火山ボーリングコア

資料・データの概要

桜島では、多数のボーリングによる掘削が行われてきた。京都大学が実施した掘削ではすべての深度において可能な限りサンプリングを行っており、総延長2400mのボーリングコアが蓄積されている。大半は桜島を形成するときに噴出した溶岩であるが、桜島形成以前の火砕流の堆積物なども含まれる。ボーリングコアサンプルの提供も可能である。また、ボーリングに付随した柱状図、地温分布などのデータの提供も可能である。

主な用途

桜島火山の形成期やそれ以前の噴火活動の研究に用いることができる。

利用・提供状況等

提供(公開)開始年月：平成10年4月11日

保有数(蓄積量)：令和4年度 11、令和5年度 11

<利用件数、利用・提供区分>

令和4年度：0(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)

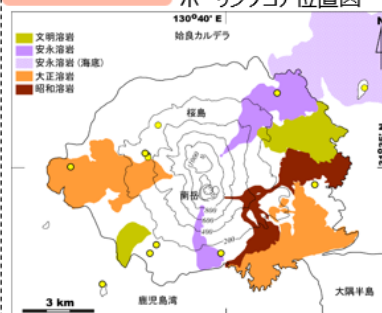
令和5年度：1(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)

<今後の計画>

コア箱の傷みが進んでいるので、随時、改修を進めている。また、提供を受けた岩石サンプルもデータベースに追加するなど整備を進める。

イメージ図

ボーリングコア位置図



資料・データの概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

桜島の爆発映像等

資料・データの概要

桜島火山などの爆発的噴火が発生した時の動画や静止画である。特に、桜島の爆発活動が活発であった1980～1990年代の噴火については、ビデオ画像が他にはほとんど存在しないので、貴重なデータベースとなっている。また、桜島以外にも、九州の活火山の噴火やインドネシアの活火山の噴火や災害に関する画像も所有している。代表的なものはHPからダウンロードできるが、それ以外のデータの提供については直接問い合わせしてほしい。

主な用途

一般向けの講義や様々な防災教育活動等の資料に活用できる。また、画像データが時刻情報も持っているので、研究者が他の観測項目と時刻の照合をすることが可能である。

利用・提供状況等

提供(公開)開始年月：平成10年4月1日

保有数(蓄積量)：令和4年度365日分、令和5年度365日分

<利用件数、利用・提供区分>

令和4年度：0(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)、提供

令和5年度：1(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)、提供

<今後の計画>

資料の蓄積をすすめるとともに、過去の噴火のビデオテープやスライド・ネガの電子ファイル化を順次実施している。

イメージ図



○資料の利用・提供・整備状況

	資料名		価値	資料の概要
1	伊勢湾台風高潮被害写真データベース			伊勢湾台風時の高潮による被害現場の写真と現在の写真をデータベース化し、平成 29 年から京都大学研究資源アーカイブと連携することで、より詳しい情報をインターネット上で提供できるようになった。
	保有数／利用・提供状況		令和 5 年度	
	保有数		230	
	利用・提供区分		提供	
	利用 件 数	総利用件数	10,469	
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）	-	
	資料名		価値	資料の概要
2	桜島火山ボーリングコア		○	桜島火山山麓 11 カ所において掘削したボーリングコアで、延べ 2、400m に及ぶ。最も深いもので 500m に及ぶ。
	保有数／利用・提供状況		令和 5 年度	
	保有数		11	
	利用・提供区分		提供	
	利用 件 数	総利用件数	1	
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）	0	
	資料名		価値	資料の概要
3	桜島の爆発映像等		○	1980 年代以降の桜島南岳の爆発的噴火のビデオ映像、写真や諏訪之瀬島など鹿児島県内の火山の噴火映像、写真
	保有数／利用・提供状況		令和 5 年度	
	保有数		365 日分	
	利用・提供区分		提供	
	利用 件 数	総利用件数	1	
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）	0	

	資料名		価値	資料の概要
4	防災研究所年報			防災研究所の論文集（昭和 26 年度～）
	保有数／利用・提供状況		令和 5 年度	
	保有数		5,016	
	利用・提供区分		提供	
	利 用 件 数	総利用件数	74,741	
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）	-	
	資料名		価値	資料の概要
5	共同研究成果資料			防災研究所で実施された共同研究成果資料の一部公開
	保有数／利用・提供状況		令和 5 年度	
	保有数		833	
	利用・提供区分		提供	
	利 用 件 数	総利用件数	28,411	
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）	-	

○データの作成・公開状況

	データ名	価値	蓄積情報の概要	公開方法
1	自然災害データベース		自然災害は種々の形態を持ち、それに関連する学問も非常に多岐に渡っている。他の分野の研究者にとっても有効な情報となるよう、本データベースでは、各地区の自然災害研究グループが収集・整理してきた自然災害に関する資料を統一的なフォーマットの基で統合しデータベース化している。従来システムの老朽化に伴い、令和 3 年度より新システムによる運用を開始した。	インターネットによる一般公開
	蓄積量／利用・提供状況		令和 5 年度	
	蓄積量		121,261	
	利用件数	総利用件数	761	
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）	0	
	データ名	価値	蓄積情報の概要	公開方法
2	災害史料データベース		歴史史料には、過去に発生した地震やその他の災害の記録が多く残されているが、史料は膨大であり、しかも現代語で書かれているわけではない。そこで、種々の歴史書からの災害に関する記事から記載を抽出する共に、その現代語訳を付けたものをデータベース	インターネットによる一般公開

				化し公開している。従来システムの老朽化に伴い、令和 3 年度より新システムによる運用を開始した。	
	蓄積量／利用・提供状況		令和 5 年度		
	蓄積量		13,632		
	利 用 件 数	総利用件数	626		
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）			
	データ名		価 値	蓄積情報の概要	公開方法
3	地磁気データ			蔵柱観測室（岐阜県高山市上宝）、宿毛観測室（高知県宿毛市）においてフラックスゲート磁力計を用いて収録した地磁気 3 成分データである。	利用申請に基づく、研究者へのデータの提供。令和 4 年度より過去のデータを含めて公開を開始した。
	蓄積量／利用・提供状況		令和 5 年度		
	蓄積量		365 日分		
	利 用 件 数	総利用件数	1		
		共同利用・共同研究者利用件数（内数）			

6.5.4 サイエンスコミュニケーター（SC）の養成

◆SC 養成講座の開催実績（令和 5 年度）

- ・第 10 回 SC 養成講座（2023 年 5 月 26 日） 7 名認定

◆見学前の SC との打合せ・練習などの準備会開催実績（令和 5 年度）

- ・令和 5 年度 計 3 回開催（12 人参加）

6.6 社会貢献活動

6.6.1 講演会・研修会・セミナー・総合学習・教員研修担当一覧（小・中・高校など） 令和 5 年度

氏名	タイトル	主催者・発行元	開催日
CRUZNA-RANJO AnaMaria	Natech Research, Disaster Prevention, and Research and Education at Kyoto University	Universidad de los Andes	2023/11/20
大見 士朗	焼岳火山周辺の地震火山活動と その研究監視観測体制	国交省神通川水系砂防事務所（キャンプ砂防 2023）	2023/08/22
大見 士朗	焼岳火山周辺の地震火山活動と その研究監視観測体制	岐阜県市町村火山防災行政担当職員研修会	2023/09/13 ～2023/09/14
大見 士朗	焼岳火山の研究監視観測体制	長野県主催・「信州火山防災の日」 制定記念シンポジウム	2023/09/23
竹林 洋史	粒子重力流研究集会 2023	重力流研究会	2023/12/06
竹林 洋史	第九回 豪雨による土砂災害研究会	災害科学研究所	2024/02/29
竹見 哲也	令和 5 年度気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会	環境省	2023/06/02
田中 賢治	気候変動が水資源に及ぼす影響	土木学会水工学委員会	2023/05/18
田中 賢治	エムリバーによる環境防災学習	虎姫高校	2023/05/21
田中 賢治	エムリバーによる環境防災学習	兵庫県立人と自然の博物館	2023/05/28
田中 賢治	エムリバーによる環境防災学習	速野小学校	2023/10/03
田中 賢治	エムリバーによる環境防災学習	中洲小学校	2023/11/09
田中 賢治	将来の気候変動予測と水資源への影響	農林水産省近畿農政局	2023/12/22
田中 賢治	エムリバーによる環境防災学習	KUSUKU	2024/02/04
田中 賢治	水循環の仕組みと気候変動等に伴う水不足リスク	関西広域連合	2024/03/14
土井 一生	特別授業「地震災害・地震防災」	滋賀県立膳所高等学校	2023/10/20 ～2023/11/14
土井 一生	特別授業「地震災害・地震防災」	滋賀県立膳所高等学校	2024/02/15 ～2024/02/19
西嶋 一欽	住宅の強風被害の現状と保険活用及び補修の実態 ー建物から強風災害低減を考えるー	あいち産業科学技術総合センター産業技術センター常滑窯業試験場	2023/10/03
西嶋 一欽	Equipment and facilities for wind tunnel experiment and wind engineering	独立行政法人国際協力機構	2023/12/11
西嶋 一欽	Example of research-based collaboration with partners in developing areas - why and how university do grassroots activities	独立行政法人国際協力機構	2023/12/11
西嶋 一欽	Role of research and research institute for disaster risk reduction	独立行政法人国際協力機構	2023/12/11

西嶋 一欽	瓦屋根の耐風性能について	あいち産業科学技術総合センター産業技術センター三河窯業試験場	2024/01/19
西村 卓也	GNSS データが示す過去 30 年間の日本列島の地殻変動	日立辺仁会	2023/10/20
西村 卓也	近畿地方のひずみ集中帯と内陸地震	一般財団法人京都市防災協会	2023/11/05
西村 卓也	地殻変動データ等からみた令和 6 年能登半島地震と発生メカニズム	防災学術連携体	2024/01/19
畑山 満則	大阪府立天王寺高等学校 2 年生対象の京大研修会「先端情報技術を用いた災害対応の高度化」	大阪府立天王寺高等学校	2023/06/02
畑山 満則	京都市立安朱小学校授業 土砂災害に関する講義・ペットボトル雨量計作成	京都市立安朱小学校	2023/06/14
畑山 満則	災害対応のための情報システムの課題と将来像	信州大学工学部水環境・土木工学科	2023/10/27
畑山 満則	災害初動時の地理空間情報活用	国土交通省国土交通大学校	2023/11/08
畑山 満則	防災に関する基礎知識について	枚方市	2023/11/18
畑山 満則	地域の健康危機管理のリーダーに必要なことは？	全国保健所長会	2024/01/22
畑山 満則	「スマートなまちづくり」～最新の情報技術を用いた巨大災害への備え～	京都市技術管理担当課長会議 技術研修部会	2024/01/26
廣井 慧	次世代防災 IT 基盤 (ARIA + CyReal)	INTEROP2023	2023/06/14 ～2023/06/16
山下 裕亮	宮崎が直面している地震のリスク～日向灘地震と南海トラフ地震～	日本損害保険協会	2023/02/03
山下 裕亮	南海トラフ地震のこと、正しく理解していますか？～基礎的知識と臨時情報～	宮崎実業クラブ	2023/05/12
山下 裕亮	南海トラフ地震関連解説情報の解説	宮崎県危機管理課	2023/05/15
山下 裕亮	宮崎が直面している地震のリスク～日向灘地震と南海トラフ地震および霧島火山～	損害保険ジャパン株式会社宮崎支店	2023/06/02
山下 裕亮	地震の基礎と、九州東岸の地震リスク：南海トラフと日向灘地震	宮崎県測量設計業協会	2023/06/08
山下 裕亮	新富町役場 南海トラフ臨時情報訓練	宮崎県新富町	2023/06/16
山下 裕亮	宮崎観測所 施設一般公開・ミニ講座	京都大学防災研究所宮崎観測所	2023/07/22 ～2023/07/23
山下 裕亮	宮崎県危機管理課訪問対応	宮崎県危機管理課	2023/08/01
山下 裕亮	宮崎における地震のリスク～日向灘地震と南海トラフ地震～	宮崎県医師会勤務医部会	2023/08/18
山下 裕亮	南海トラフ地震 臨時情報に関するセミナー	京都大学防災研究所・宮崎県	2023/08/30
山下 裕亮	日向灘地震に備えましょう	エフエム宮崎	2023/09/01
山下 裕亮	宮崎県民が直面している地震のリスク	赤江地区社会福祉協議会福祉	2023/09/09

		協力部会	
山下 裕亮	青島小学校防災授業	宮崎市立青島小学校	2023/09/13
山下 裕亮	常識を疑え！外所地震からのメッセージ	木花地域まちづくり推進委員会	2023/09/19
山下 裕亮	南海トラフ地震・日向灘地震のウソホント～正しく理解し、正しく備える～	京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設	2023/10/28
山下 裕亮	宮崎県民なら知っておきたい地震のあれこれ	日本技術士会九州本部宮崎県支部	2023/11/18
山下 裕亮	宮崎県民なら知っておきたい地震のあれこれ	宮崎県防災士ネットワーク	2023/12/03
山下 裕亮	宮崎における地震のリスク～日向灘地震と南海トラフ地震～	国立病院機構宮崎東病院	2023/12/04
山下 裕亮	宮崎が直面している地震のリスク 日向灘地震と南海トラフ地震	日本損害保険協会 宮崎損保会	2023/12/17
山下 裕亮	宮崎観測所施設見学	日本電気技術者協会 九州支部 宮崎地区事務局	2023/12/19
山下 裕亮	国土強靱化シンポジウム in 宮崎 ～もしもから、いつもを守る。～	内閣官房国土強靱化推進室	2023/12/20
山下 裕亮	地震のメカニズムと南海トラフ巨大地震	西都市	2024/01/20
山下 裕亮	宮崎県民なら知っておきたい地震のあれこれ	宮崎県防災士ネットワーク	2024/02/03
山下 裕亮	「出張！地震ラボ」京都大学防災研究所がさぐる日向灘の地震活動	宮崎県総合博物館	2024/02/07 ～2024/03/22
山下 裕亮	報道関係者の皆さんに知っておいて欲しい地震のあれこれ	NHK 宮崎放送局	2024/02/08
山下 裕亮	南海トラフ地震臨時情報とは？	門川町	2024/02/11
山下 裕亮	令和 6 年能登半島地震の特徴、宮崎における内陸地震のリスクと備え	宮崎市郡医師会	2024/02/15
山下 裕亮	日向灘における最近の地震活動とスロー地震観測研究	日本建築構造技術者協会	2024/02/16
山下 裕亮	青島地区の津波想定について	宮崎市青島ビーチセンター 「渚の交番」	2024/02/19
山下 裕亮	教養講座「先端技術(デジタル)×現地調査(リアル)で探究する宮崎の防災」フィールドワーク	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	2024/02/22 ～2024/02/23
山下 裕亮	耳恋シローと行く！親子で学ぶ津波学習バスツアー	宮崎県	2024/03/16
山下 裕亮	宮崎観測所視察訪問（宮崎県副知事）	宮崎県危機管理課	2024/03/21
矢守 克也	「もしものときのがんこちゃん 台風がちかづいたら」（取材協力・脚本監修）	NHK E テレ	2023/07/18
吉村 令慧	地震活動研究の最前線と地震・津波への備え	能登半島北東部において継続する地震活動に関する総合調査グループ、珠洲市	2023/06/04

6.6.2 学術指導 令和 5 年度

依頼者	指導担当者	指導題目	指導料 総額
応用地質株式会社	多々納 裕一	自然災害による経済損失の予測手法に関する研究	非公開
クボタ環境エンジニアリング株式会社	佐山 敬洋	排水機場操作支援のための水位予測シミュレーター指導業務委託	-
株式会社東京建設コンサルタント	佐山 敬洋	RRI モデルを用いた洪水予測システム、流出モデルの改良	500,000
非公開	西野 智研	非公開	非公開
株式会社大林組	非公開	非公開	非公開
飛島建設株式会社	池田 芳樹	非線形領域における建物特性変化の評価手法に関する技術指導	550,000
クボタ環境エンジニアリング株式会社	佐山 敬洋	排水機場操作支援のための水位予測シミュレーター指導業務委託	1,430,000
パシフィックコンサルタンツ株式会社	松四 雄騎	新潟県湯沢町周辺深層崩壊履歴検討に関する技術指導	非公開

※その他、全項目非公開 3 件

6.6.3 マスメディアを通じての活動 令和 5 年度

氏名	記事・番組名	掲載メディア	掲載・出演日
倉田 真宏	地震後の現場復旧ワークショップを開催して	Atom Medical	2023/09
倉田 真宏	一部で梁端部破断、階段室落下も 令和6年能登半島地震鉄骨造建物被害調査結果	鋼構造ジャーナル	2024/02
倉田 真宏	①BIM活用の現状と課題を調査	鋼構造ジャーナル	2024/03/18
倉田 真宏	JSSC 関西地区委員会 BIM 活用テーマに講演会 曲線部材と3D 活用例も	鋼構造ジャーナル	2024/03/18
倉田 真宏	②設計BIMデータの活用は進まず	鋼構造ジャーナル	2024/03/25
後藤 浩之	震源域 150km、桁違いの断層破壊か専門家「日本海側で最大級」	朝日新聞	2024/01/02
後藤 浩之	"阪神・淡路大震災引き起こした地震に匹敵 する強さ" 専門家	NHK	2024/01/02
後藤 浩之	"阪神級"の揺れで建物被害甚大の能登半島地震、火災や津波の複合災害も	日経クロステック	2024/01/03
後藤 浩之	阪神大震災と似た揺れか 専門家「建物倒壊に注意」一能登半島地震	時事通信	2024/01/05
佐山 敬洋	中小河川氾濫予測モデル	読売新聞	2023/07
佐山 敬洋	リスクの高い「中小河川」氾濫の予測システム	関西テレビ	2023/08
竹林 洋史	静岡県浜松市で発生した土石流の流動特性	NHK	2023/06
竹林 洋史	胆振東部地震による土砂流動数値シミュレーション	北海道新聞	2023/08
竹林 洋史	胆振東部地震で発生した厚真町の土砂災害の特徴と対策	北海道放送	2023/09/06
竹林 洋史	綾部市篠田町で発生した土砂災害の特性と対策	関西テレビ	2023/09/15
竹林 洋史	輪島市市ノ瀬町で発生した土石流の流動特性	朝日新聞	2024/01/31
竹林 洋史	土石流の流動特性	中国放送	2024/03/20
竹見 哲也	西日本豪雨から 5 年 今年も線状降水帯が次々と発生 求められる豪雨災害対策とは	朝日放送テレビ	2023/07/06
竹見 哲也	九州の大雨 梅雨前線に大量の水蒸気流れ込む、再び大雨の可能性も	産経新聞社	2023/07/07
竹見 哲也	西日本豪雨から 5 年 今年も線状降水帯が次々と発生 求められる豪雨災害対策とは	Yahoo!Japan ニュース	2023/07/07
竹見 哲也	市街地での強風に対する備え	日本テレビ	2023/08/10
竹見 哲也	台風 7 号についての解説	NHK	2023/08/14
竹見 哲也	台風の“風”による災害に備えよう！	NHK	2023/08/27
竹見 哲也	台風はなぜこうも毎年毎年、日本にやってくるのか？	テレビ大阪	2023/08/31
中野 元太	先生・生徒の主体性が地震・津波から命を守る	国際開発ジャーナル社	2023/09/01
中野 元太	特集 関東大震災から 100 年知って備える大震災	朝日新聞出版	2023/09/15
中野 元太	日本の防災力を世界へ	NHK 総合テレビ	2023/10/29
中野 元太	周知不足、混乱懸念「学校や地域で議論を」	北海道新聞	2023/12/16
西川 友章	「関東大震災100年」教訓＜3＞予知は可能 見果てぬ夢	読売新聞	2023/06
西川 友章	【千葉で地震頻発】『スロースリップ』指摘される巨大地震との関係性とは？南海トラフ地震は？専門家「時期予測は難しいが規模の範囲が以前よりわかるように」解説	毎日放送	2024/03

西嶋 一欽	台風の“風”による災害に備えよう！	NHK	2023/08/23
西嶋 一欽	”瓦屋根の防災性”特集	日本屋根経済新聞	2023/09/18
西野 智研	老朽建物火災どう避難、大阪ビル放火あす 2 年、少ない逃げ道消防が指導、改修費支援活用進まず	日本経済新聞	2023/12/16
西野 智研	津波火災 2 件 流されガスなどに引火か 能登半島地震	毎日新聞	2024/01/23
西野 智研	珠洲沿岸部 津波火災か 京大分析 漂流物から引火「東日本」でも確認	読売新聞	2024/01/24
西野 智研	能登半島地震の火災発生率 東日本大震災を上回る 専門家が報告	NHK	2024/01/28
西野 智研	焦げた臭い 今も漂う 珠洲・宝立 津波が運んだ火広がる	北國新聞	2024/01/31
西村 卓也	能登半島の地震(M6.5)関連	TBS テレビ	2023/05/05
西村 卓也	能登半島の地震(M6.5)関連	テレビ朝日	2023/05/05
西村 卓也	能登半島(M6.5)の地震関連	読売テレビ	2023/05/05
西村 卓也	地震続く能登最大規模	朝日新聞社	2023/05/06
西村 卓也	能登半島の地震(M6.5)関連	読売テレビ	2023/05/06
西村 卓也	震度 6 強から 1 週間 能登半島の地下で何が起きているのか	NHK	2023/05/12
西村 卓也	石川・能登の地震起こす水、どこから？ 分かれる意見	共同通信配信	2023/05/13
西村 卓也	頻発する地震・・・原因は”流体”？	NHK	2023/05/13
西村 卓也	千葉、能登の地震に対する専門家コメント	MBS	2023/05/13
西村 卓也	伊豆諸島 新島・神津島近海で地震活動続く 強い揺れに注意	NHK	2023/05/23
西村 卓也	能登の群発地震その仕組みは？	中日新聞社	2023/06/05
西村 卓也	大阪北部地震から5年	関西テレビ	2023/06/19
西村 卓也	地震の陰に「地下の水」	毎日新聞社	2023/09/07
西村 卓也	モロッコ地震・死者2000人超／トカラ列島で地震相次ぐ	フジテレビ	2023/09/10
西村 卓也	福岡市 活断層学会がシンポジウム 最新の研究成果を紹介	NHK 福岡放送局	2023/11/11
西村 卓也	内陸地震の発生確率、人工衛星データで予測 M6 級も評価可能に	毎日新聞社	2023/11/21
西村 卓也	能登半島地震関連	TBS テレビ	2024/01/01
西村 卓也	能登半島地震関連	TBS テレビ	2024/01/03
西村 卓也	能登半島地震関連	日本テレビ	2024/01/04
西村 卓也	能登半島地震関連	関西テレビ	2024/01/04
西村 卓也	能登半島地震関連	テレビ朝日	2024/01/04
西村 卓也	最新報告 能登半島地震 ～命の危機いまでも～	NHK	2024/01/05
西村 卓也	能登半島地震関連	TBS テレビ	2024/01/06
西村 卓也	能登半島地震関連	読売テレビ	2024/01/06
西村 卓也	能登半島地震 行き届かない支援物資 謎の発生メカニズム・・・“流体”とは	BS 朝日	2024/01/07
西村 卓也	能登半島地震関連	テレビ大阪	2024/01/08
西村 卓也	能登半島地震関連	MBS テレビ	2024/01/08
西村 卓也	緊急検証 2024 年年明けを襲った衝撃と奇跡	テレビ朝日	2024/01/13
西村 卓也	地震大国日本の危機！能登半島地震の警鐘をならした研究者が次に危ないと思う地域は？	テレビ東京	2024/02/07

西村 卓也	危険 あなたのそばにも活断層～能登半島地震から学ぶ	NHK 広島(中国地方)	2024/03/07
西村 卓也	能登半島地震関係	東海テレビ	2024/03/09
西村 卓也	【GPS がとらえた異変】日本列島で相次ぐ大きな地震・・・南海トラフ巨大地震との関連は	朝日放送テレビ	2024/03/12
西村 卓也	イマナマ！防災 SP 広島に潜む災害リスク 地震・豪雨で何が起こる Snow Man 阿部亮平と学ぶ広島の地震&豪雨	RCC テレビ	2024/03/20
深畑 幸俊	地質スケールでみる能登半島地震 日本海の誕生からつながる変動	朝日新聞社	2024/03/07
深畑 幸俊	能登地震の発生前 地下で何が	朝日新聞社	2024/03/08
松島 格也	損保ジャパンと京大、災害時の企業の資金調達を研究	日本経済新聞	2023/06/29
宮澤 理稔	能登半島西側で余震急減？でも楽観は禁物 今後の地震、専門家は	毎日新聞	2024/02
宮澤 理稔	洞窟！？謎の地震研究所	福井テレビ	2023/09/02
宮澤 理稔	光ファイバー網で地震計測	日本経済新聞	2024/03/29
山下 裕亮	南海トラフ地震 その時どうする？	UMK テレビ宮崎	2023/04/14
山下 裕亮	「南海トラフで臨時情報」新富町職員が図上訓練	宮崎日日新聞社	2023/06/17
山下 裕亮	京都大学防災研究所 宮崎観測所で地震や防災について学ぶイベント	MRT 宮崎放送	2023/07/22
山下 裕亮	京都大学の観測所に潜入！小学生が地球科学を楽しく学ぶ	UMK テレビ宮崎	2023/07/25
山下 裕亮	地震への備え学ぶ 京大防災研究所がミニ講座 宮崎で親子連れら 15 人参加	毎日新聞社	2023/07/27
山下 裕亮	京都大学の観測所に潜入！小学生が地球科学を楽しく学ぶ	Fuji News Network	2023/07/28
山下 裕亮	防災研究、教育で協力 県、京大防災研と連携協定	宮崎日日新聞社	2023/08/17
山下 裕亮	県と京都大研究所 防災へ連携協定 南海トラフ地震や豪雨見据え	毎日新聞社	2023/08/18
山下 裕亮	災害に備えー連携協力協定を締結	夕刊デイリー	2023/08/18
山下 裕亮	自然災害を研究、県民に知見提供 宮崎県と京大防災研が連携協定	宮崎日日新聞社	2023/08/18
山下 裕亮	南海トラフ巨大地震の「臨時情報」が出たらどうする？京大防災研がセミナー	MRT 宮崎放送	2023/08/30
山下 裕亮	南海トラフ地震臨時情報への備え キーワードは「二刀流」	UMK テレビ宮崎	2023/08/30
山下 裕亮	南海トラフ地震対策、宮崎で「臨時情報」のセミナー開催 日向灘沿岸 10 市町担当者が討論	西日本新聞社	2023/08/31
山下 裕亮	南海トラフ地震「臨時情報」発表時の対応や備え学ぶ 10 市町職員向けセミナー	宮崎日日新聞社	2023/08/31
山下 裕亮	「揺れが小さくても津波は来る」宮崎市の小学校で地震講座	UMK テレビ宮崎	2023/09/13
山下 裕亮	約 360 年前の 9 月 19 日に発生した巨大地震「外所地震」教訓を生かそうと宮崎市で防災講演会	MRT 宮崎放送	2023/09/19
山下 裕亮	木花防災の日 外所地震について専門家が防災講話 宮崎県	UMK テレビ宮崎	2023/09/19
山下 裕亮	南海トラフ地震臨時情報 周知進まず 県内自治体対応苦慮	宮崎日日新聞社	2023/11/08
山下 裕亮	中高一貫校の生徒が地震観測方法などを学ぶ特別	NHK 宮崎放送局	2023/11/09

	講座 五ヶ瀬町		
山下 裕亮	五ヶ瀬中等校に地震計設置 防災 身近に感じて	宮崎日日新聞社	2023/11/14
山下 裕亮	京都大、九州大と協働し活動 教養講座で防災学ぶ 生徒たちー五ヶ瀬中等	夕刊デイリー	2023/11/16
山下 裕亮	地震や津波に備えて 宮崎市の小学校で児童が通学路などに潜む危険を調査	MRT 宮崎放送	2023/11/22
山下 裕亮	地震・津波への備え 青島小学校で安全マップづくり	UMK テレビ宮崎	2023/11/22
山下 裕亮	地域防災 地震や津波備え 危険箇所を確認 青島小 3、4 年生 訓練アプリ使い学習	宮崎日日新聞社	2023/11/27
山下 裕亮	宮崎市の小学生が防災マップ作成 地震、津波時の危険箇所確認	宮崎日日新聞社	2023/11/27
山下 裕亮	県内津波注意報 深夜の発生 自治体緊迫 住民ら不安、高台避難も	宮崎日日新聞社	2023/12/04
山下 裕亮	深夜に津波警報 専門家「揺れ感じなくても注意を」	MRT 宮崎放送	2023/12/04
山下 裕亮	子どもたちが自ら避難経路を考える 宮崎市の小学校で津波避難訓練	MRT 宮崎放送	2023/12/06
山下 裕亮	南海トラフ地震などへの備えを考える 宮崎市でシンポジウムが開催	MRT 宮崎放送	2023/12/26
山下 裕亮	能登半島地震「決して他人事と思わないで」	UMK テレビ宮崎	2024/01/04
山下 裕亮	能登半島地震の教訓と備え	MRT 宮崎放送	2024/01/09
山下 裕亮	逃げトレ 津波の動きと自分の行動確認し避難 宮崎市の小学校でも活用	宮崎日日新聞社	2024/01/11
山下 裕亮	海洋機構 震源域周辺 海底調査へ 京大宮崎観測所が地震計	宮崎日日新聞社	2024/01/13
山下 裕亮	能登半島地震を受け 研究船が地震多発海域を調べる緊急調査航海に出港	ANN NEWS	2024/01/16
山下 裕亮	地震の詳細メカニズム調査へ 研究船が能登半島沖に向け出港	NHK	2024/01/16
山下 裕亮	複数の活断層が連動か…「能登半島地震」と類似した地震 大分で発生する可能性は	テレビ大分	2024/01/18
山下 裕亮	国土強靱化シンポジウム in 宮崎 ～もしもから、いつもを守る。～	宮崎日日新聞社	2024/01/26
山下 裕亮	津波の被害をシミュレーションできる防災用アプリを使った避難訓練 中高生が1泊2日の防災研修	MRT 宮崎放送	2024/02/23
山下 裕亮	アプリ使い高台避難 五ヶ瀬中等校、日南高生と訓練 津波想定 専門家が指導	宮崎日日新聞社	2024/02/29
山下 裕亮	地震観測、仕組み学ぶ 県博物館でコラボ展	宮崎日日新聞社	2024/03/06
山下 裕亮	「同程度の地震が起きる可能性も」立て続けに北部平野部を震源とする地震	UMK テレビ宮崎	2024/03/07
山下 裕亮	門川町で震度 3 など 宮崎県北部平野部で地震相次ぐ	MRT 宮崎放送	2024/03/07
山下 裕亮	東日本大震災から 13 年	UMK テレビ宮崎	2024/03/11
山下 裕亮	おしえて山下先生！揺れの大きさと津波の関係	NHK 宮崎放送局	2024/03/11
山下 裕亮	おしえて山下先生！津波が来るとき必ず潮が引く？	NHK 宮崎放送局	2024/03/12
山下 裕亮	おしえて山下先生！津波から逃げることはできる？	NHK 宮崎放送局	2024/03/13
山下 裕亮	おしえて山下先生！南海トラフ地震臨時情報	NHK 宮崎放送局	2024/03/14
山下 裕亮	宮崎公立大学 京都大学防災研究所と学术交流の協定を締結	NHK 宮崎放送局	2024/03/29
山下 裕亮	防災教育を強化 宮崎公立大学と京都大学防災研究所が学术交流で協定	MRT 宮崎放送	2024/03/29

山下 裕亮	宮崎公立大学と京大防災研究所 防災教育で連携	宮崎日日新聞社	2024/03/30
山下 裕亮	防災教育の取り組みを強化 宮崎公立大学と京都大学防災研究所が協定	UMK テレビ宮崎	2024/03/30
矢守 克也	地震対応、二刀流で:不確実情報を有効活用	(共同通信) 山形新聞、琉球新聞、岩手日報、信濃毎日新聞、福井新聞、日本海新聞、山口新聞、山梨日日新聞、山陰中央新報、徳島新聞、高知新聞、南日本新聞、京都新聞、下野新聞、宮崎日日新聞、静岡新聞、中国新聞	2023/05
矢守 克也	避難訓練に一工夫を:参加のハードル下げよう	(共同通信) 山形新聞、静岡新聞、信濃毎日新聞、日本海新聞、山口新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、京都新聞、中国新聞、下野新聞、山陰中央新聞、愛媛新聞	2023/11
矢守 克也	地域社会自立をめざせー想定内の災害直視を	(共同通信) 静岡新聞、福井新聞、山口新聞、高知新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、下野新聞、神戸新聞、愛媛新聞、北海道新聞、東京新聞、京都新聞、中国新聞	2024/02
矢守 克也	「34mの津波に備える町で「南海トラフ巨大地震に備えるワークショップ」	NHK ステラネット	2023/04/01
矢守 克也	どうする奈良／どうする日本「南海トラフ地震こうして備えよう」	奈良新聞	2023/04/08
矢守 克也	防災・減災:天使と悪魔の辞典	NHK	2023/04/13
矢守 克也	南海トラフ巨大地震 最悪の事態に備える	NHK	2023/04/16
矢守 克也	「南海トラフ地震“臨時情報” …そのときどうする? :	NHK 高知	2023/04/16
矢守 克也	チャレンジ! BOSAI アクション 第4弾	NHK	2023/04/27
矢守 克也	避難のスイッチ共有しよう	綾部市民新聞	2023/05/12
矢守 克也	突然の強震、備えは	毎日新聞	2023/06/06
矢守 克也	豪雨災害に備える	NHK	2023/06/06
矢守 克也	水害から命と暮らしを守る	NHK	2023/06/18
矢守 克也	線状降水帯とは?	NHK 関西ラジオワイド	2023/06/29
矢守 克也	災害時の高齢者の逃げ遅れ、遠くの親族とアプリで防ぐ	日本経済新聞	2023/07/05
矢守 克也	西日本豪雨 5 年 警戒レベル「情報多く」	読売新聞	2023/07/06
矢守 克也	西日本豪雨 5 年 命守りたい 空振りでも避難情報	朝日新聞	2023/07/08
矢守 克也	「九州北部豪雨 1 週間」続く警報危機感伝わらず	(共同通信) 宮崎日日新聞	2023/07/17
矢守 克也	当地の「過去最大降雨」が集中 研究者「特徴的な危険な降り方」	西日本新聞	2023/07/19

矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクション 第 5 弾	NHK	2023/07/23
矢守 克也	自然災害が多発する今こそ注目。災害を減らすために「防災心理学」を学ぶ！	週刊プレイボーイ NEWS	2023/08/01
矢守 克也	シェア防災 ～シェアしよう！みんなの防災～「南海トラフ巨大地震 津波到達までの時間をどう生かす？」	NHK	2023/08/02
矢守 克也	被災地からの警鐘 小さな命のメッセージ	高知さんさんテレビ	2023/08/05
矢守 克也	津波、その選択で逃げ切れる？ 宮崎で避難訓練アプリ試してみた	西日本新聞	2023/08/16
矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクション 第 5 弾	NHK	2023/08/20
矢守 克也	Z 世代が向き合う防災 日常の延長、SNS・デジタル駆使	日本経済新聞	2023/08/24
矢守 克也	南海トラフ地震臨時情報への備え キーワードは「二刀流」	テレビ宮崎	2023/08/30
矢守 克也	南海トラフ巨大地震の「臨時情報」が出たらどうする？ 京大防災研究所がセミナー	宮崎放送	2023/08/30
矢守 克也	「関西 聴くハザードマップ(特別編) ～南海トラフ巨大地震 大阪府のケースから津波についての情報の意味とその活用について考える～」	NHK	2023/08/30
矢守 克也	南海トラフ地震「臨時情報」発表時の対応や備え学ぶ:10 市町職員向けセミナー	宮崎日日新聞	2023/08/31
矢守 克也	津波避難訓練アプリが併走 京大防災研開発	中日新聞	2023/09/01
矢守 克也	大阪に津波が 10 分で来る？ 南海トラフ巨大地震の前に知っておいて欲しいこと	NHK	2023/09/01
矢守 克也	防災の日 関西空港で南海トラフ巨大地震を想定した訓練	NHK	2023/09/01
矢守 克也	防災の日！備えの再点検を！	NHK	2023/09/01
矢守 克也	いつでも始められる地区防災計画」(NVNAD あれから 30 年プロジェクトシンポから)	NHK	2023/09/07
矢守 克也	特別警報運用 10 年で 25 回 増える防災情報分かりづらい	読売新聞	2023/09/09
矢守 克也	Tsunami evacuation app offers a realistic experience	JapanTimes	2023/09/12
矢守 克也	フェーズフリー防災とは？	NHK	2023/10/19
矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクション 第 6 弾	NHK	2023/11/23
矢守 克也	人と人とのつながりが「いざ」という時のちを守る	佼成新聞	2023/11/25
矢守 克也	想定がなくし備えを 自主防災ネットワーク専門家に災害対策学ぶ	両丹日日新聞	2023/11/27
矢守 克也	「複雑だ」防災情報 統一キーワードで整理へ 気象庁	NHK	2023/12/06
矢守 克也	“わかりにくい”防災気象情報 名称・発表基準を統一へ見直し進む	日テレ	2023/12/07
矢守 克也	復興とは何か問う「災害復興学事典」発刊 避難生活や関連死…80 項目紹介 大震災の教訓を後世へ	神戸新聞	2023/12/09
矢守 克也	挑戦！NHK防災サバイバル～吹田市～	NHK	2023/12/13
矢守 克也	阪神・淡路大震災から 29 年	ラジオ関西	2023/12/13
矢守 克也	新語・流行語で、今年の防災を振り返る	NHK	2023/12/21
矢守 克也	被災地の再生回復とは「災害復興学事典」具体例踏まえ論考	西日本新聞	2023/12/23
矢守 克也	旅行・帰省中 被災したら	朝日新聞	2024/01/06
矢守 克也	心に届く防災報道を	読売新聞	2024/01/07

矢守 克也	「阪神・淡路大震災 災害ボランティアの歩み」	NHK	2024/01/10
矢守 克也	冬の避難生活、関連死リスク 能登半島地震	産経新聞	2024/01/10
矢守 克也	巨大災害、そのときニッポンは？	関西テレビ	2024/01/14
矢守 克也	阪神・淡路大震災から 29 年	ラジオ関西	2024/01/17
矢守 克也	避難場所 5000 箇所 津波リスク	日本経済新聞	2024/01/18
矢守 克也	災害弱者避難 担い手不足	神戸新聞	2024/01/20
矢守 克也	“まさか”を“やはり”に 福知山市が避難シンポ	両丹日日新聞	2024/01/26
矢守 克也	その時、あなたは？ 検証・津波警報	神戸新聞	2024/02/01
矢守 克也	南海トラフ地震に備え 住民が食料や薬など個別に 備蓄 黒潮町	NHK	2024/02/01
矢守 克也	旅行や外出中に災害が起きたら？ 備えや心構えは	日本経済新聞(電子版)	2024/02/01
矢守 克也	自主避難続けるしか	朝日新聞	2024/02/06
矢守 克也	すぐにやってきた津波	朝日新聞	2024/02/09
矢守 克也	能登半島地震で起こったことそして私たちはどうす れば 識者に聞く	朝日新聞	2024/02/10
矢守 克也	石川・珠洲のある集落、津波の死者はゼロ 住民の命 救った合言葉	毎日新聞	2024/02/11
矢守 克也	能登半島地震から南海トラフ巨大地震への備えにど うつなげる？	NHK	2024/02/15
矢守 克也	能登半島地震関連(大阪版インタビュー記事)	朝日新聞	2024/02/21
矢守 克也	旅行や外出中に災害が起きたら？ 備えや心構えは	日本経済新聞	2024/02/22
矢守 克也	過疎の本題に踏み込め	北國新聞	2024/02/22
矢守 克也	救援阻む地形の宿命	北國新聞	2024/02/23
矢守 克也	すべての課題が能登に出現	北國新聞	2024/02/24
矢守 克也	「南海トラフ地震臨時情報に対する地域での対応や 備え」シェア防災～シェアしよう！みんなの防災～	NHK	2024/02/27
矢守 克也	「子どもたちと考える能登半島地震 チャレンジ！ BOSAI アクション」	NHK	2024/03/03
矢守 克也	南海トラフ避難最大 880 万人、「2 次避難」対策急務	産経新聞	2024/03/03
矢守 克也	災害ボランティアの進化と課題	週刊世界と日本	2024/03/04
矢守 克也	日常から「自立力」高めよ	北國新聞	2024/03/04
矢守 克也	閉校する高知県・興津小学校の防災 これまでとこれ から	NHK	2024/03/07
矢守 克也	臨時情報…って何ですか？ 仕組みがスタートしてま もなく 5 年	テレビ高知	2024/03/08
矢守 克也	地震で崩れた木造家屋、うちは大丈夫？耐震化の いま 京大防災研で聞いてみた①	朝日新聞ポッドキャスト #577	2024/03/09
矢守 克也	突然の揺れ「落ち着け」と言われても…パニックと向 き合う心構え 京大防災研で聞いてみた②	朝日新聞ポッドキャスト #578	2024/03/09
矢守 克也	「ウイズ災害の時代」南海トラフ地震に備える海辺の 町の知恵 京大防災研で聞いてみた③	朝日新聞ポッドキャスト #579	2024/03/09
矢守 克也	能登避難、3.11 より早く 大津波警報前に初動 8 割	日本経済新聞	2024/03/10
矢守 克也	災害廃棄物処理、理解深めて 南海トラフ地震推計 2.2 億トン 東日本大震災 13 年	産経新聞	2024/03/11
矢守 克也	「防災計画」2300地区で作成、都道府県でばらつき …富士山や南海トラフ警戒する山梨が最多	読売新聞	2024/03/11
矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクション 第 6 弾	NHK	2024/03/24
吉村 令慧	地下深部の水が断層のずれに関係か 石川県能登 地方の震度 6 強地震 京都大など	Science Portal	2023/05/08

吉村 令慧	地下の構造を解明へ 京大研究者が石川・珠洲市を訪問	北陸朝日放送	2023/05/11
吉村 令慧	震度 6 強から 1 週間 能登半島の地下で何が起きているのか	NHK	2023/05/12
吉村 令慧	地震の陰に「地下の水」	毎日新聞	2023/09/07
吉村 令慧	最新報告 能登半島地震 ～命の危機いまでも～	NHK	2024/01/05